つ　つなげよう未来へ！
し　市民協働による
ま　まちづくり

つしまチカラ
Power Of Tsushima

平成２７年度

組　織　目　標

～「協働型市政の確立」を目指して～

長崎県対馬市

… アジアに発信する歴史海道都市　対馬 …

～　目　　次　～

Ⅰ　組織目標（概要版）　・・・・・・・・・　1

Ⅱ　組織目標（個票）　・・・・・・・・・　7

1　しまづくり戦略本部　・・・・・・・・・　7

2　総務部　・・・・・・・・・　１３

3　総合政策部　・・・・・・・・・　１６

4　市民生活部　・・・・・・・・・　２５

5　福祉部　・・・・・・・・・　３１

6　保健部　・・・・・・・・・　３４

7　農林水産部　・・・・・・・・・　３８

8　建設部　・・・・・・・・・　４７

9　水道局（部）　・・・・・・・・・　４９

１０　中対馬振興部　・・・・・・・・・　５１

１１　上対馬振興部　・・・・・・・・・　５６

１２　消防本部　・・・・・・・・・　６３

１３　教育委員会事務局　・・・・・・・・・　６６

平成２７年度　対馬市組織目標（概要版）

１　しまづくり戦略本部

①　地域循環システムの構築に向け検討を進めます。

「自立するふるさとのしま　対馬」をキャッチフレーズに、「海」「森林」「国際ビジネス」「生ゴミ」「地域コミュニティ」「域学連携」の6つの循環を提唱し、地域資源を活用した産業振興と循環型社会の実現に向けて、平成26年度に作成した3箇年計画に基づいて、調査や検討を進めます。

②　域学連携による地域づくりを推進します。

大学と地域が連携し、様々な地域課題の解決に向けた実践的な取り組みを進めたり、地域資源を活用した新たな産業や社会の枠組みを創出するなどし、地場産業や観光産業等の活性化を図るとともに、地域づくりを担う人材の育成に努めます。

③　様々な機関や業種が連携して産業の振興を目指します。

事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加により地域の活性化を目指します。また、「対馬市異業種間連携交流協議会」においても、異業種間で課題等を共有しながら連携して、産業の振興策を検討していきます。

④　情報連携システムを構築します。

市役所内での情報共有及び市民への情報発信についてマニュアルを作成し、職員への説明会を行い周知徹底することで、より見える市政を目指します。

⑤　対馬３高校の魅力化を推進します。

市と高等学校とが連携・協働し、対馬3高校の維持・存続を図るため、高校の魅力化を推進します。

⑥　航空運賃低廉化に向けた実証実験事業を取り組みます。

対馬の活性化対策の1つとして航空運賃低廉化制度創設を国に求めていくために、島外利用者（島民も利用は可能）を対象とした運賃低廉化モデル事業を実施します。

２　総務部

①　市内の土砂災害危険区域等を掲載したハザードマップを作成します。

市内の土砂災害危険区域や土砂災害特別警戒区域等を掲載したハザードマップを作成し、防災意識の高揚と防災知識の普及啓発を図ります。

②　健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表を行います。

市の財政状況や予算・決算などについて、市報・ホームページにわかりやすい形で掲載し、市の財政状況に関する市民の理解を深められるように努めます。

③　入札・契約の適正化に努めます。

常に入札契約制度の検証を行い、公正性の確保・客観性・透明性の向上に努めるとともに、現下の経済情勢を考慮し、国・県の動向と歩調を合わせ、適正な落札率となるよう運用を図ります。また、入札参加資格者申請や業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めるよう努めます。

３　総合政策部

①　市民協働による第２次対馬市総合計画の策定を進めます。

平成28年度開始の第2次対馬市総合計画の策定において、市民総出による手作りの計画となるよう、また、地域の資源や宝、人材を活用した地域間連携による新規産業化を目指し、地域マネージャーや外部・内部支援員、地域による協働の取組みとして策定する地域づくり計画を最大限反映させた計画を作成します。

②　対馬市人口ビジョン及び対馬市総合戦略の策定を進めます。

地方の人口減少抑制のため、国が示す「産・学・官・金・労・言」にまちづくり団体、女性、若者、議会、公募委員等、オールつしまの体制にて、①移住対策、②子育て環境整備、③雇用・仕事づくり対策の3つ施策を柱として対馬市総合戦略を策定します。

③　水ビジネス事業を推進します。

これまでの調査結果を基に、事業実施主体の選定に向けた関連企業へのアプローチなど、新規事業化に向けた取り組みを継続して行います。

④　空き屋バンク制度登録を推進します。

U・Iターン対策として、移住者向け不動産情報の充実を目指し、空き屋バンク登録を推進します。

⑤　魅力ある観光情報システムづくりを目指します。

観光案内・誘導板の設置により、観光情報提供機能の強化を図るとともに、観光資源までのスムーズな誘導を促し満足度の向上を図ります。

⑥　国際交流イベントをはじめとした交流人口の拡大を図ります。

対馬3大イベントをはじめとする国際交流イベントの開催支援を行い、国内外へ対馬をアピールすることにより交流人口の拡大を図ります。

⑦　商業地域を中心としたにぎわいづくりをします。

年々増加している韓国人観光客など商店街のにぎわいづくりには絶好の好機となっています。この様な状況を活かすため、各事業者向けの研修会等を実施し知識や意識の啓発を行うとともに、商工業支援事業により資金面の下支えを行います。

⑧　地場産品の更なる消費拡大に取り組みます。

物産展等の継続開催や出展はもとより、商品づくりの専門家による勉強会や指導・相談会の開催、バイヤーとの商談会を開催し、消費者ニーズに応じた商品づくりや販路開拓を推進します。

⑨　国境を越えた文化交流の充実を図ります。

対馬歴史街道博物館（仮称）施設の整備推進を行います。また、日本遺産の認定へ向けた取り組み市とそれを生かした対馬魅力アップ事業を行い、外国からの観光客増加を図ります。さらに朝鮮通信使関連遺産のユネスコ世界記憶遺産登録へ向けた活動支援を行います。

4　市民生活部

①　窓口ワンストップ化、親切な窓口づくり、証明書交付事務の適正化と効率化に努めます。

市役所の全体業務を把握し、来訪者への適切な説明案内に努め、窓口ワンストップ化を推進します。また、各窓口センター及び郵便局の証明書等交付事務について、事務の現状把握と見直しを行い迅速な処理と正確な事務を確保します。さらに番号制度導入に伴い、事前準備や市報等による市民への周知を行い、窓口での適切な対応を行います。

②　滞納処分の強化を図ります。

厳正な滞納処分を実施するため、積極的に財産調査、預貯金調査、生命保険等の調査を行い、差押えの実施および滞納処分の停止等滞納整理の充実を図ります。また、臨戸徴収から自主納付（口座振替等）への推進、不動産公売の強化を図ります。

③　各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションを推進します。

「元気野菜コンテスト」を開催している団体や生ごみ堆肥化の活動を行う各種団体を支援するとともに、生ごみ・廃食油資源の再利用システム実証実験についても継続して取り組みます。

④　海山等の自然環境を保全する活動を推進します。

昨年度実施した漂着ごみの回収・処理を参考に漂着ごみの計画的な回収を実施します。また、海岸漂着物の発生抑制のため、関係者間の連携・交流等を目的に、日韓市民ビーチクリーンアップ事業及び漂着ごみ回収イベントを開催します。

５　美津島行政サービスセンター

①　税の現年収納率の向上に努めます。

訪問による接触、臨戸徴収、納税相談の件数を増やし、一時的ではなく将来の納付につなげ、現年収納率の向上に努めます。また、過年度分の滞納額の累積により納付困難である滞納者の整理（執行停止）を図り、計画的に滞納額の圧縮に努めます。

②　水道料金の収納率向上に努めます。

水道料金の収納率向上のため、徴収強化月間の設定（夜間徴収）、納付奨励の強化及び給水停止等に取り組み、新たな滞納額の縮減に努めるとともに、過年度分滞納額の徴収にも積極的に取り組みます。

６　福祉部

①　高齢者福祉及び障害者福祉サービスの充実に努めます。

高齢者福祉サービスにおいては、各種支援事業を実施するとともに関係機関との連携を密にし、孤独死ゼロを目指します。また、障害者福祉サービスにおいても、職員の知識と意識を高めニーズに即したサービス提供を図り、地域において自立した日常生活等を営まれるよう連携体制を確立し、苦情ゼロを目指します。

②　保育料の収納率向上に努めます。

未納保育料及び滞納保育料については、納入催促通知書等の通知、臨戸徴収や納付相談を実施するとともに、各担当者との連携を図り、早めの徴収を念頭に収納率の向上を目指します。

③　ペアリング体制の構築による適正な支援サービスの提供に努めます。

通常業務におけるチェック体制とバックアップを行うための協力体制を確立し、市民の立場に立った迅速な対応と事務の効率化を図り、適正な支援サービスの提供に努めます。

７　保健部

①　健康つしま２１計画の推進に努めます。

生涯を通じて元気に生きるための健康づくりの行動指針や推進方策を示す保健計画「健康つしま21」に基づき、歩いてつくる元気のわキャンペーンやウォーキング大会を継続するなど、効果的な活動を展開していきます。

②　慢性腎臓病（CKD）対策事業を実施します。

慢性腎臓病（CKD）の発症や進行により、重症化した際に必要となる透析予防対策として、対馬保健所と協力しながら平成25年度から3ヶ年計画で事業を進めており、CKD予備軍に絞った取り組みを実施します。併せて、調剤薬局薬剤師による糖尿病性腎症重症化予防事業を実施します。

③　市民健診の受診率向上に努めます。

市民健診の受診率向上につきましては、対馬市特定健診・保健指導プログラムに基づき、特定健診受診率40％、特定保健指導初回面接実施率65％を目標として、講演会や未受診者への電話・臨戸訪問等による勧奨に取り組みます。

④　地域包括ケアシステムの構築を推進します。

団塊の世代が後期高齢者となる2025年（平成37年）に向けて、地域包括ケアシステム（医療・介護・介護予防・生活支援・住まいの5つのサービスが連携した、高齢者が安心して生活できるまちづくり）の構築を目指し、検討委員会を設置し、対馬市の実情に合った地域包括ケアシステムのあり方、目指すべき方向性について提言書を作成します。

８　農林水産部

①　對馬椎茸“やる倍”ナバダス計画総合対策支援事業を実施します。

「對島椎茸“やる倍”ナバダス計画」に基づき、大型生産団地導入支援、種駒・原木補助、販路拡大流通体制構築支援、後継者・選別作業員育成等を実施し、計画的にしいたけ生産振興策を推進します。

② 市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業を実施します。

市有林及び分収林の森林整備を推進し、市有林間伐による二酸化炭素吸収量のクレジット化と販売促進を行うとともに、森・川・里・海環境保全再生基金については、民有林を含め、森林整備促進のため、また、森林づくり基本計画及び伐採ガイドラインの実行施策への財源として活用します。

③ 対馬猪鹿活用促進事業を実施します。

被害対策である防護柵の整備については、事業メニューが多いことから、期間を定めてイノシシ・シカに関する対策相談等を開催し被害対策についての正確な情報提供に努めます。また、各関係者でワークショップを開催し、農林業振興と有害鳥獣問題に対する問題解決に向けた意見の集約を実施します。

④ 学校給食地場農林水産物導入事業を実施します。

学校給食での食材供給について、特産・奨励品であるシイタケ、あか牛、野菜及び水産物購入への支援を行い、地場農林水産物利用の促進を図ります。

⑤ 「海洋保護区」の設定を進めます。

水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るために「海洋保護区」の設定を目指します。科学委員会からの答申を検討し、区域の設定や区域内の資源管理計画を策定後、国や県などに働きかけていき、対馬らしい海洋保護区設定を進めていきます。

⑥ 「対馬食通祭」を開催します。

第1次産業と観光の融合を目指すため、今年度も対馬の農水産物の消費拡大と島のPRを目的に、3ヶ月間イベントを開催します。期間中は、オープニング、中間、エンディング、期間中のイベントと4つのイベントを開催します。

⑦ 魚礁の設置を進めます。

対馬沿岸域における水産資源の低迷により漁業生産量は減少し続けている状況から、魚礁を地先漁業権内に設置し近場の漁場を整備することにより、漁業者の高齢化にも配慮した漁場環境を整えます。

⑧ 水産物の輸送費補助を実施します。

水産物を島外へ出荷する際の輸送コストに係る経費を財政的に支援することで、漁業者の所得安定及び減少に歯止めをかけ、漁業の発展を図ります。

⑨ 基盤整備工事の早期発注、早期完成に努めます。

農林道整備、漁港漁場整備等は、第一次産業の基盤整備として市民生活の利便性向上を目的とするものであり、計画的な発注を行い年内の委託業務完了及び工事の執行100％を目指します。

9 建設部

① 市営住宅使用料未収金の縮小に努めます。

市営住宅使用料について受益負担の原則、負担の公平性の観点から、文書による督促事務や長期滞納者に対する文書による確約等を締結しての分納指導、また、確約不履行等の悪質滞納者には、裁判所による明け渡し命令等の法的手続きを取るなど、未収額の縮小に努めます。

② 公共工事の早期発注・早期完成に努めます。

公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し市民生活の活性化とともに、早期完成によって市民の生活基盤の底上げを図ります。

10 水道局（部）

① 水道事業及び簡易水道事業の経営統合を推進します。

「対馬市水道ビジョン」の計画に基づき、平成28年度末に水道事業と簡易水道事業を経営統合することとし、今年度は「固定資産及び水道資産の把握」「統合後の水道料金の検討」「水道事業統合のための国への認可申請」に取り組み、水道事業の更なる経営改善に努めていきます。

② 水道料金の収納率向上に努めます。

経営の効率化と健全な事業運営を図るためには、水道料金の収納率向上は緊急の課題であり、今年度も前年度に引き続き新規滞納者の発生予防、納付確約（分納）者の取り組み強化、給水停止の強化に取り組みます。

11　中対馬振興部

① イベントと連携した体験型観光の推進を図ります。

豊玉管内で開催されるイベント（シーカヤック大会）と連携した体験型観光を推進し、浅茅湾をはじめ、和多都美神社などの観光資源の活用を促進します。

② 観光地の景観維持活動を行います。

自然環境の維持に重点をおき、観光客をはじめとした、神話の里、烏帽子岳展望台の利用者に心地よい場を提供し、観光客の誘致につなげるため、職員による園内の朽木伐採や除草作業等の景観維持活動を実施します。

③ 窓口の適正かつ親切・丁寧な対応と管内の環境整備に努めます。

窓口処理における市民満足度の向上を図るため、来庁者が相談しやすい職場（窓口）環境づくり、苦情件数「ゼロ」を目指します。また、管内における環境整備のため、不法投棄防止の啓発に取り組み、不法投棄箇所数の削減に努めます。

④ 税・水道料金の納付促進に努めます。

税・水道料金の納付について、納税相談、誓約の履行、時間外徴収等を実施することにより、税の現年度分徴収率並びに、水道料金収納率の向上に努めます。

12　峰行政サービスセンター

① 快適な窓口サービスの提供に努めます。

来庁されるお客様が気持ちよくスムーズに用件を済まされるように、「担当者不在時のサポート体制」「懸案事務に係る所内会議の徹底」「笑顔で挨拶、迅速かつ丁寧な対応、窓口の美化」に努め、苦情件数「ゼロ」を目指します。

13　上対馬振興部

① 豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光を推進します。

トレッキングコースの整備及び観光客の満足度向上のための三宇田地域整備方針の決定などにより、交流人口の増加、産業の活性化を図り北部対馬の賑わいを取り戻すことを目指します。

② 窓口サービスの適正・迅速化と電話対応の向上に努めます。

職員相互間の情報共有化を図り、市民ニーズに対し広い間口体制を構築し、主担当が不在でも市民ニーズに応えられる体制づくりと、窓口・電話対応に対する苦情件数「ゼロ」を目指します。

③ 公共工事の早期発注・早期完成に努めます。

公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに早期完成により、市民皆様の生活基盤の底上げを図ります。

14　上県行政サービスセンター

① 観光基盤の充実と体験型観光の推進に取り組みます。

対州馬、ツシマヤマネコなど対馬固有の地域資源を活用し交流人口の拡大を図るため、対州馬とのふれあい事業の実施及び対州馬保存管理計画の策定に取り組みます。

② 窓口及び電話対応の向上に努めます。

職員相互の情報の共有化を図り、各担当の業務内容の把握に努め、担当者不在時の対応や複数来客時の対応など、窓口サービスの向上に努めます。また、電話対応では、相手の立場に立った親切丁寧な対応に努めます。

③　地域イベント・ボランティア活動へ参加します。

地元で開催される各種イベントやボランティア活動に積極的に参加し、市民協働を推進していきます。

④　庁舎内外の清掃を徹底します。

来庁者皆様が気持ちよく利用されるように、庁舎内の清掃及び庁舎敷地周環境美化に努めるとともに、庁舎内ゴミの分別と減量化に取り組みます。

15　消防本部

①　分団車両の適正配備及び団員の安全装備品配備を進めて行きます。

昨年度、団員の減少等から消防団活動に支障をきたす分団及び単独分団について、隣接分団との統合を進め、消防団の体制が見えてきたことから、消防車両の地域に適応した適正配備と消防団員の安全装備品の配備を進めて行きます。

②　AEDの使用方法等応急手当の普及啓発活動に取り組みます。

救急隊到着までの市民による応急手当（心肺蘇生法・AEDの使用・止血法）の実施は極めて重要であり、今年度もCATV、市報等のメディアを介しての広報を実施するとともに、市ホームページの応急手当e－ラーニングを活用した救命講習会の受講時間短縮を図りながら、これまで以上の普通救命講習及び救急法の指導推進に努めます。

③　住宅用火災警報器設置促進及び防火対象物の防火対策に取り組みます。

住宅用火災警報器設置促進のため、住宅防火診断を行い、設置率50％未満の地区を「ゼロ」にします。また、自動火災報知設備の義務対象となる小規模な既存の宿泊施設に対して再通知を行い、早期設置に取り組みます。

16　教育委員会事務局

①　教育施設の充実・整備、有効活用を推進します。

対馬市の未来を託す子どもたちが豊かな人間関係を築き、社会性の醸成を図られるような教育環境を整えるため、「対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画」に基づいて保護者説明会、地区説明会を実施し、学校、保護者及び地域住民の理解のもと統廃合を進めます。

②　確かな学力・豊かな心を育む教育活動を推進します。

各種研修会の実施、各関係者との連携等により、対馬市の地域特性を踏まえた教育の充実、指導力の向上、特別支援教育の充実、不登校対策に係る研修会の開催と連携体制づくりに取り組み、一人ひとりを大切にした教育活動を推進します。

③　しまの魅力に出会う日本の宝「しま」交流支援事業を実施します。

県内の子ども、親子、青年を対象に、しまの魅力を体験する活動を通して、しまの人々や参加者同士の交流を深め、しまの魅力を再認識するとともに、地元実行委員会を中心とした地域教育力の向上及びしまの活性化の支援を目指して実施します。

④　文化財の保護、活用を図ります。

史跡の計画的な保存整備、文化財保護ネットワーク関係者会議等の開催による文化財に係る防犯対策の強化と情報発信及び市内盆踊りの調査・記録等、文化財の保護・活用に取り組みます。

全体	No.１
個別	001-01

平成２７年度［しまづくり戦略本部］　組織目標

課　名	新　政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	豊かな自然との調和を図り、地球環境にやさしい人とまち
		施　　策	資源循環型社会の構築
1	項　　目	地域循環システムの構築に向け検討を進めます	
	内　　容	「自立するふるさとのしま　対馬」をキャッチフレーズに、「海」「森林」「国際ビジネス」「生ゴミ」「地域コミュニティ」「域学連携」の６つの循環を提唱し、地域資源を活用した産業振興と循環型社会の実現に向けて、平成２６年度に作成した３箇年計画に基づいて、調査や検討を進めます。	
	指　　標（数値目標）	【今年度】 ・推進本部会議の開催　２回 ・プロジェクト部会（１０部会）の開催　　随時 ・市民や議会への進捗状況報告　１回 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
推進本部会議	○						○					
各部会の開催		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
市民・議会への進捗状況報告									○			

全体	No. 2
個別	001-02

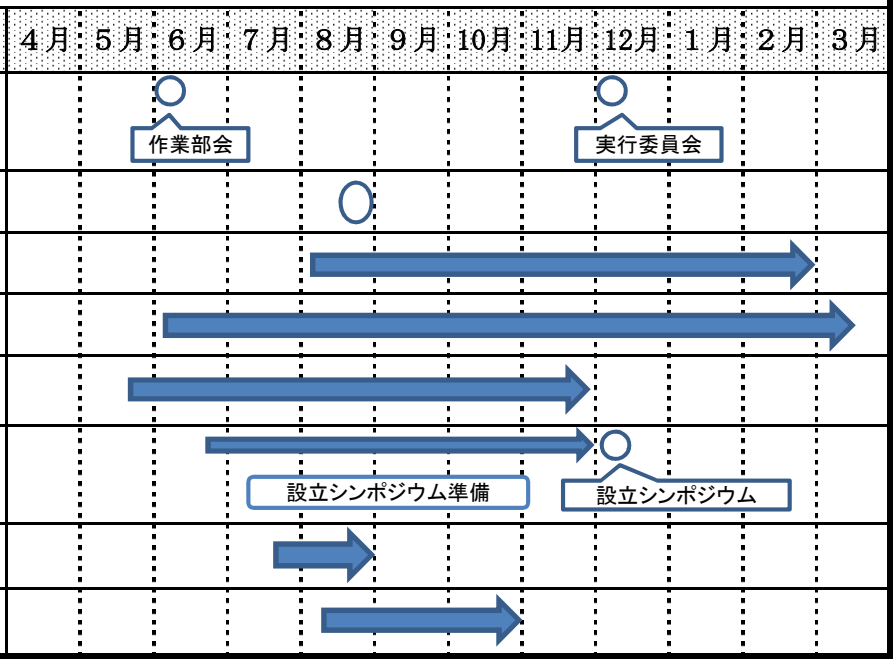
平成２７年度［しまづくり戦略本部］　組織目標

課　名	新　政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施　　策	Ｕ・Ｉターン等　定住化対策の促進

2	項　　目	域学連携による地域づくりを推進します
	内　　容	大学と地域が連携し、様々な地域課題の解決に向けた実践的な取り組みを進めたり、地域資源を活用した新たな産業や社会の枠組みを創出するなどし、地場産業や観光産業等の活性化を図るとともに、地域づくりを担う人材の育成にも努めます。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ①域学連携地域づくり実行委員会・作業部会の開催　各１回 ②インターン学生の受入 ・短期合宿「島おこし実践塾」の開催　３０人 ・現場学（中長期インターン）の受入　２０人 ・学術研究（学術研究奨励補助研究、自由研究）の受入　４件 ③学生の活動・滞在拠点の整備計画の作成 ④「対馬学フォーラム(仮称)」の設立と設立イベントの開催１２５人 ⑤こども対馬未来塾の開催（自習スペースと郷土学習の提供） 夏休みこども寺子屋（小中学生対象）１６回 学び舎つしま（高校生対象）２６回 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成２８年３月

スケジュール



全体	No.３
個別	001-03

平成２７年度［しまづくり戦略本部］　組織目標

課　名	新　政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分		
		施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施　　策	地場産業の振興と観光との連携
3	項　　目	様々な機関や業種が連携して産業の振興を目指します	
	内　　容	事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加により地域の活性化を目指します。 また、「対馬市異業種間連携交流協議会」においても、異業種間で課題等を共有しながら連携して、産業の振興策を検討していきます。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・ワンストップ相談窓口での相談受付：年２０件 うち創業者の目標数：年９件 ・創業支援会議の開催 代表者会議２回、ワーキング部会４回（相談件数により増減します） ・異業種間連携交流協議会の開催：３回 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール	取り組み		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	ワンストップ相談窓口の相談受付		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	創業支援会議	代表者会議				○						○		
	創業支援会議	ワーキング部会			○			○			○			○
	異業種間連携交流協議会					○				○			○	

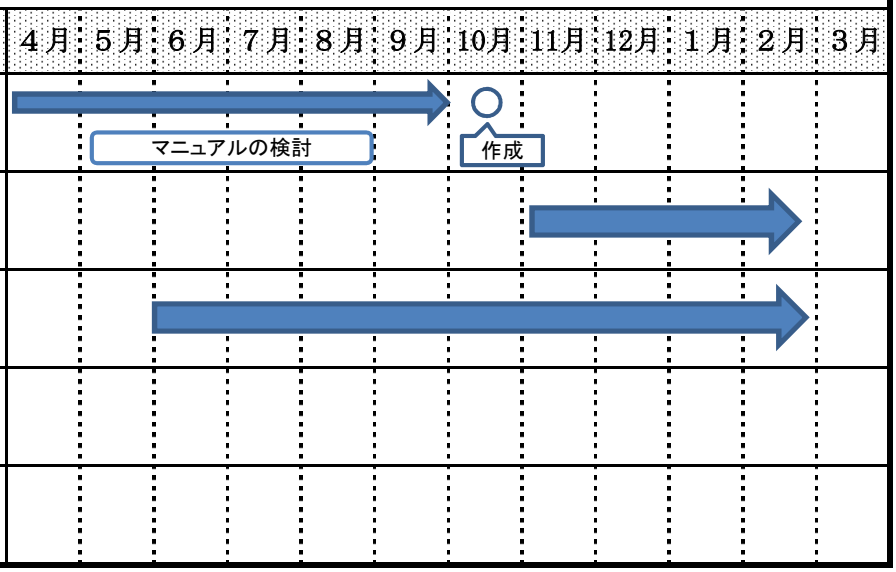
全体	No.４
個別	001-04

平成２７年度［しまづくり戦略本部］　組織目標

課　名	新　政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち
		施　　策	地域情報通信ネットワークの構築
4	項　　目	情報連携システムを構築します	
	内　　容	市役所内での情報共有及び市民への情報発信についてマニュアルを作成し、職員への説明会を行い周知徹底することで、より見える市政を目指します。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ①情報連携マニュアルの作成 担当者会議の開催　２回 ②職員説明会の開催 ③地域への情報発信システムの検討 担当者会議の開催　２回 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール

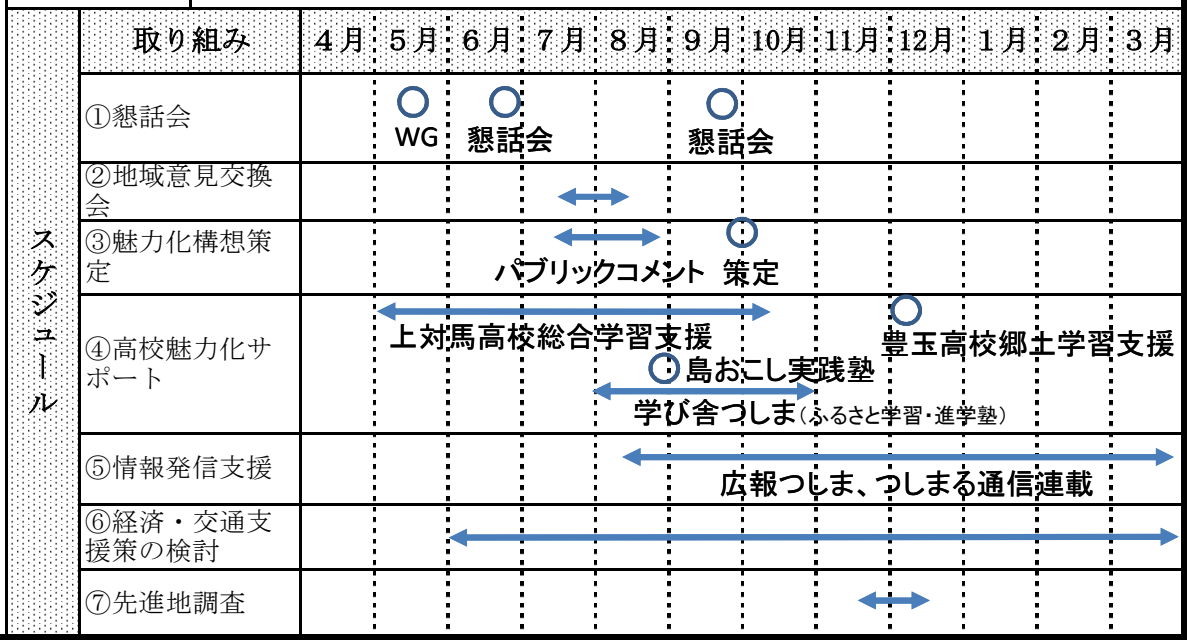


全体	No.５
個別	001-05

平成２７年度［しまづくり戦略本部］　組織目標

課　名	新　政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分		
		施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施　　策	Ｕ・Ｉターン等　定住化対策の促進
5	項　　目		対馬３高校の魅力化を推進します。
	内　　容		市と高等学校とが連携・協働し、対馬３高校の維持・存続を図るため、高校の魅力化を推進します。
	指　　標 （数値目標）		【今年度】 ①対馬市高校魅力化推進懇話会の開催 （懇話会２回、ワーキンググループ１回） ②魅力化に関する地域意見交換会の開催（上・中・下３回） ③対馬３高校魅力化構想の策定 ④島おこし協働隊や域学連携事業による高校魅力化サポート （学び舎つしま26回開催、島おこし実践塾への高校生受入、総合学習支援） ⑤３高校の情報発信支援（広報つしま連載掲載） ⑥３高校への経済及び交通支援策等の検討 ⑦高校魅力化先進地調査（山口県津和野等・大崎上島町等） 【達成年度】 ・同　上
	達成時期		平成２８年３月



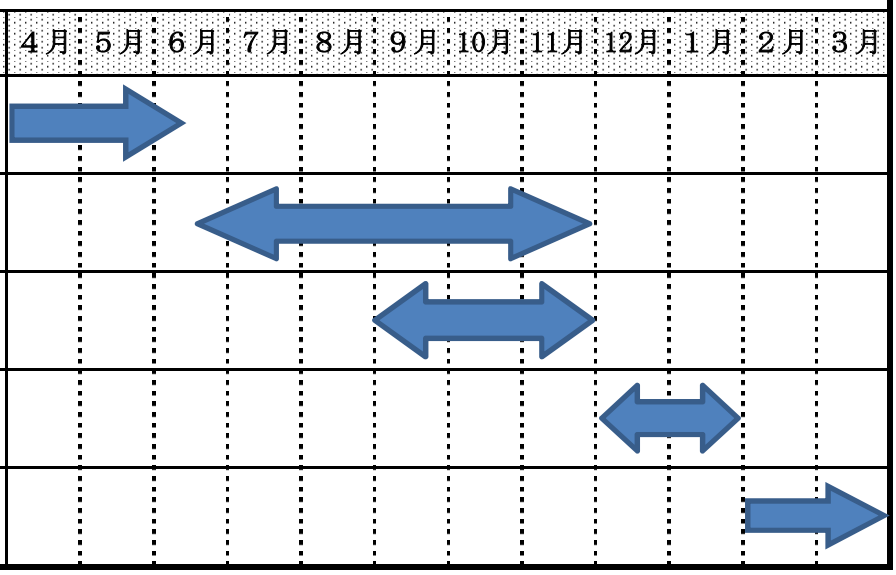
全体	No.６
個別	001-06

平成２７年度［しまづくり戦略本部］　組織目標

課　名	未来創造・交通政策課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち
		施　　策	広域交流を支える交通アクセスの強化
1	項　　目	航空運賃低廉化に向けた実証実験事業を取り組みます。	
	内　　容	国境離島であり、かつ遠隔離島である対馬において住民が持続的に暮らしていくためには、航空路の運賃低廉化を図り、国内からの交流人口を拡大させていく必要があります。 このため、対馬の活性化対策の１つとして航空運賃低廉化制度創設を国に求めていくためにも、島外利用者（島民も利用は可能）を対象とした運賃低廉化モデル事業を実施します。 なお、モデル事業終了後は、その結果を検証し、効果を国に示していきます。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・実証実験期間　　３ヶ月間 ・期間中の旅客者数　　例年比５％増（500人/月） 【達成年度】 ・航空運賃低廉化にかかる恒久的な国の支援制度の創設	
	達成時期	平成２９年　４月	

スケジュール



全体	No.7
個別	002-01

平成２７年度［　総　務　部　］組織目標

課　名	総　務　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち
		施　策	安全で質の高い住環境の整備
1	項　目	市内の土砂災害危険箇所や土砂災害特別警戒区域等の防災情報を掲載したハザードマップを作成します。	
	内　容	市内の土砂災害危険箇所や土砂災害特別警戒区域等の防災情報を掲載したハザードマップを作成し、防災意識の高揚と防災知識の普及啓発を図ります。	
	指　標（数値目標）	【今年度】 ・平成２８年１月までにマップ案を作成 ・平成２８年２月に印刷開始 ・平成２８年３月配布（市報配布時） 【達成年度】 平成２７年度	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
マップ案作成												
マップ印刷												
マップ配布												

全体	No.８
個別	002-02

平成２７年度［　総　務　部　］組織目標

課　名	財　政　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　策	対象外

1

項　目	健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表
内　容	・市の財政状況や予算・決算などについて、市報・ホームページにわかりやすい形で掲載し、市の財政状況に関する市民の理解を深められるように努めます。 ・将来にわたって健全な財政運営を確保するため、第３次対馬市中期財政計画（計画期間H28～H32）を策定します。 ・将来の公債費抑制を図るため、積極的な繰上償還を実施します。 ・公共施設等総合管理計画策定（H28までに策定）及び新地方公会計整備（H29までに整備）に取り組みます。
指　標（数値目標）	【今年度】

公表項目	ホームページ	市報
平成２７年度当初予算	○	○（概要版）
平成２６年度下半期及び平成２７年度上半期予算の執行状況	○	○
平成２６年度決算	○	○
平成２６年度健全化判断比率、資金不足比率及び財務諸表	○	
第３次対馬市中期財政計画	○	

【目標達成年度】
・公共施設等総合管理計画については平成２８年度、新地方公会計整備については平成２９年度

達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
健全な財政運営の執行	随時実施											
ホームページ及び市報による財政状況の公表		○						○		○		○
わかりやすい予算概要版の作成及び配布		○										
第３次対馬市中期財政計画策定及び公表					計画策定				○			
公共施設等総合管理計画策定・新地方公会計整備	随時実施											

全体	No.9
個別	002-03

平成２７年度［　総　務　部　］組織目標

課　名	財　政　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　策	対象外

2	項　目	入札・契約の適正化
	内　容	常に入札契約制度の検証を行い、公正性の確保・客観性・透明性の向上に努めます。また、現下の経済情勢を考慮し、国・県の動向と歩調を合わせ、適正な落札率となるよう運用を図ります。 また、現在の入札参加資格者申請について検証を行い必要に応じ、改めるよう努めます。 さらに、業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めるよう努めます。
	指　標 （数値目標）	【今年度】 ・最低制限基礎価格の乗率を建設工事については９０％、コンサル業務、役務については７５％とすることを継続し適正な落札率となるよう運用を図ります。 ・現在の入札参加資格者申請について、検証を行い、必要に応じて改めます。 また、業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めます。 ・当初発注予定工事公表分（９６件）の入札実施目標 ・第１四半期　１９件　・第２四半期　５１件 ・第３四半期　２２件　・第４四半期　４件 ・入札結果をホームページで公表します。 ・平成２７年度より入札時に提出を義務づけた工事費内訳書について制度の周知徹底に努めます。 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成２８年　３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
入札・契約制度の検証	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
入札参加資格申請の検証	→	→	→	→	→	→	→					
業者の格付けの検証	→	→	→	→	→	→	→					
入札結果の公表（ホームページ）							→	→	→	→	→	→

全体	№１０
個別	003-01

平成２７年度［ 総 合 政 策 部 ］ 組織目標

課 名	政 策 企 画 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち
		施策	市民協働によるまちづくりの構築
	項目	市民協働による第２次対馬市総合計画の策定	
	内容	平成２８年度開始の第２次対馬市総合計画の策定において、市民総出による手作りの計画になるよう、また、地域の資源や宝、人材を活用した地域間連携による新規産業化を目指し、地域マネージャーや外部・内部支援員、地域による協働の取組みとして策定する地域づくり計画を最大限反映させた計画とします。	
	指標（数値目標）	【今年度】 地域づくり宣言及び各種団体等ヒアリング結果を基に、①ひとづくり、②なりわいづくり、③ふるさとづくり、④つながりづくり の４つを主要テーマとし、短期的に集中して実施する事業、施策を網羅した「第２次対馬市総合計画」を策定します。 【達成年度】 平成２７年度：地域づくり宣言等を反映させた第２次対馬市総合計画の策定	
	達成時期	平成２８年 ３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
計画骨子の策定	↔	↔										
計画案の策定			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔			
市議会への説明			○			○			● 上程			
対馬市総合計画等審議会の開催			●		●		●	●				
第２次総合計画PR										↔	↔	↔

全体	No.１１
個別	003-02

平成２７年度［ 総 合 政 策 部 ］ 組織目標

課 名	政 策 企 画 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	快適な暮らしを支える基盤の整った人とまち
		施策	市民協働によるまちづくりの構築
	項目	対馬市人口ビジョン及び対馬市総合戦略の策定	
	内容	地方の人口減少抑制のため、国が示す「産・学・官・金・労・言」にまちづくり団体、女性、若者、議会、公募委員等、オールつしまの体制にて、①移住対策、②子育て環境整備、③雇用・仕事づくり対策の３つ施策を柱として対馬市総合戦略を策定します。	
	指標（数値目標）	【今年度】 ①移住対策、②子育て環境整備、③雇用・仕事づくり対策に係る具体的な事業を網羅した総合戦略及び今後４０年から５０年後の将来人口や現在人口の社会・自然増減、産業構造等、総合戦略策定の基礎となる対馬市人口ビジョンを策定する。 【達成年度】 平成２７年１２月：対馬市人口ビジョン及び対馬市総合戦略策定	
	達成時期	平成２７年１２月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
人口、産業等基礎資料作成	↔	↔										
各種アンケート調査集計分析	↔	↔	↔	↔								
総合戦略策定			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔			
庁内会議●、外部会議○開催			●	○	●	○	●	○				
議会説明			○			○			○			

全体	№１２
個別	003-03

平成２７年度［ 総 合 政 策 部 ］ 組織目標

課 名	政 策 企 画 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施策	地場産業の振興と観光の連携
	項目	水ビジネス事業の推進	
	内容	一般県道瀬浦厳原港線の「内山坂トンネル」における湧水について、新たな資源と認識し、過去２ヶ年の調査結果及び昨年度実施した、熊本県内の地方公共団体が一定の関与をしている小規模施設の運営状況、市場の状況を整理したうえで、本部会としての今後、当面の取組みに一定の結論を出すこととしたい。 なお、島内にて起業意向のある事業者との協議を行なうとともに島外事業意向者の発掘に努める。	
	指標（数値目標）	【今年度】 対馬市内の湧出地の現地調査及び湧出量（概算）調査を実施するとともに、現状の市場状況は厳しいものの新規事業化に向け、島内意向事業者との協議及び島外意向事業者の発掘、アプローチを継続していきます。 【達成年度】 平成２７年度：市内の湧出地の現地調査及び湧出量（概算）調査 事業意向企業への訪問、協議活動	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
循環PTの開催	●				●						●	
島内湧出地現地調査					↔	↔	↔	↔				
湧出量（概算）調査					↔	↔	↔	↔				
事業意向企業訪問（該当企業があった場合）			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№１３
個別	003-04

平成２７年度［ 総 合 政 策 部 ］ 組織目標

課　名	市民協働・自然共生課

№.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施　　策	Ｕ・Ｉターン等　定住化対策の促進
	項　　目	空き屋バンク制度登録を推進します。	
	内　　容	Ｕ・Ｉターン対策として、移住者向け不動産情報の充実を目指し、空き屋バンク登録を推進します。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 新規空き屋バンク登録件数　５件 【達成年度】 以降毎年度登録５件以上を目標とする。	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール

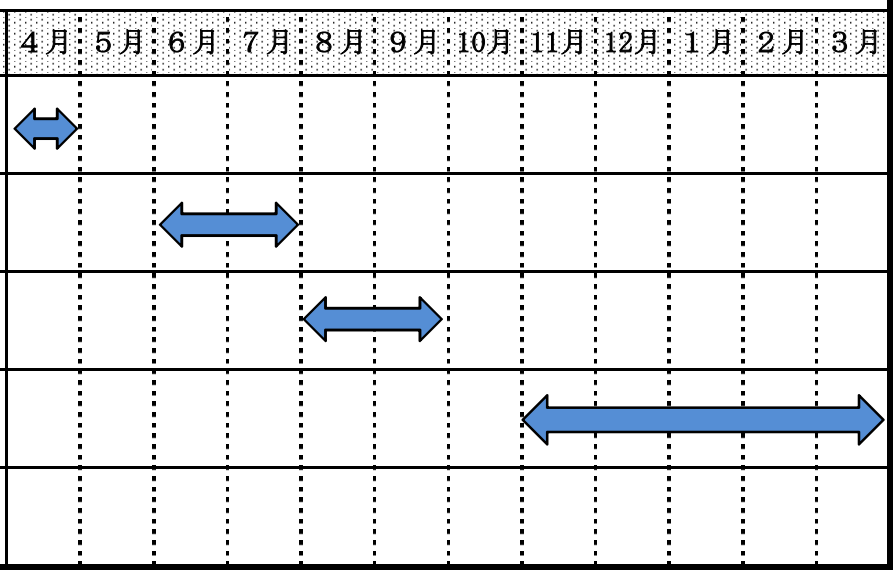
取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
市報による広報				○					○			
CATVによる周知						○						
市内各地域での情報収集			←									→
登録増加のための施策検討・実施				←								→

全体	No.１４
個別	003-05

平成２7年度［ 総 合 政 策 部 ］ 組織目標

課 名	観 光 交 流 商 工 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち
		施策	独自の地域資源を活かした交流人口の拡大
	項目	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。	
	内容	観光案内・誘導板の設置により、観光情報提供機能の強化を図るとともに、観光資源までのスムーズな誘導を促し満足度の向上を図ります。	
	指標（数値目標）	【今年度】 ・観光案内・誘導板を島内全域に１６基設置予定 【達成年度】 ・２９２基（設置、改修）予定。	
	達成時期	平成３０年３月	



全体	№１５
個別	003-06

平成２７年度［ 総 合 政 策 部 ］ 組織目標

課 名	観 光 交 流 商 工 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち
		施策	韓国をはじめとする東アジア都市との国際交流の促進
	項目	国際交流イベントをはじめとした、交流人口の拡大	
		・①～③の対馬３大イベントをはじめとする国際交流イベントの開催支援を行い、国内外の交流人口の拡大を図ります。特に、対馬厳原港まつりは朝鮮通信使行列の再現を３年ぶりに実施できるよう支援します。 ① 対馬厳原港祭り ② 国境マラソンIN対馬 ③ 海道音楽祭 ・NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会が推進する朝鮮通信使の関係資料をユネスコ記憶遺産に申請する事業を後押しします。 ・韓国で流行のＭＥＲＳの影響が懸念されますが、通年による国際交流事業の支援活動を実施し、韓国をはじめとする東アジアからの観光客の増加を図ります。	
	指標（数値目標）	【今年度】 ・国境マラソンIN対馬　参加者数　１，４００人 ・厳原港まつり　観客数　３１，０００人 ・海道音楽祭　観客数　１，５００人 ・韓国人観光客数　２００，０００人 ・ユネスコ記憶遺産申請　２８年３月に申請書送付 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
国境マラソンIN対馬				●								
対馬厳原港まつり					●							
海道音楽祭					●							
国際交流事業支援	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	●

全体	No.１６
個別	003-07

平成２７年度［ 総 合 政 策 部 ］ 組織目標

課 名	観 光 交 流 商 工 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施策	商業集積と高度化・魅力向上
	項目	商業地域を中心としたにぎわいづくりをします。	
	内容	市内商店街は、人口の減少や過疎高齢化などにより以前の活気が失われ、にぎわいが低迷し続けています。しかしながら増加している韓国人観光客などの消費を取り込むことが出来れば、商店街の活性化につながる絶好の好機でもあります。 この状況を活かすため、各事業者向けの研修会等を実施し知識や意識の啓発を行うとともに、商工業支援事業により資金面の下支えをしていきます。	
	指標（数値目標）	【今年度】 商工業活性化の協議　　年３回 対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金 対馬市農商工連携支援事業補助金 対馬市中小企業振興(創業)資金融資条例 対馬域内消費拡大事業 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
商工業活性化の協議	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
対馬市農商工連携支援事業補助金	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
対馬市中小企業振興(創業)資金融資条例	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
対馬域内消費拡大事業				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№１７
個別	003-08

平成２７年度［ 総 合 政 策 部 ］ 組織目標

課 名	観 光 交 流 商 工 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施策	地場産業の振興と観光との連携
	項目	地場産品の更なる消費拡大に取り組みます。	
	内容	物産展等の継続開催や出展により、対馬の認知度向上と特産品ＰＲ・販路開拓を図ります。 福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、認知度向上による「つしまヂカラ」戦略プランに基づき、特産品のＰＲと販路開拓及び対馬産品取り扱い店舗拡大に取り組みます。 一昨年オープンした「よりあい処つしま」を活用し、定期的な対馬フェアを開催することで、ＰＲ・集客・誘客はもちろん、対馬特産品取扱店舗の開拓を行います。 商品づくりの専門家による勉強会や指導・相談会の開催、バイヤーとの商談会を開催し、消費者ニーズに応じた商品づくりや販路開拓を図ります。 「海山交流」を行っている地域と、物産・人・情報交流事業等に取り組みます。	
	指標（数値目標）	【今年度】 ・九州管内での物産展等の開催　５回以上 ・各種物産展の企画・出展・斡旋　１０回以上 ・海山交流イベント　５回 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール

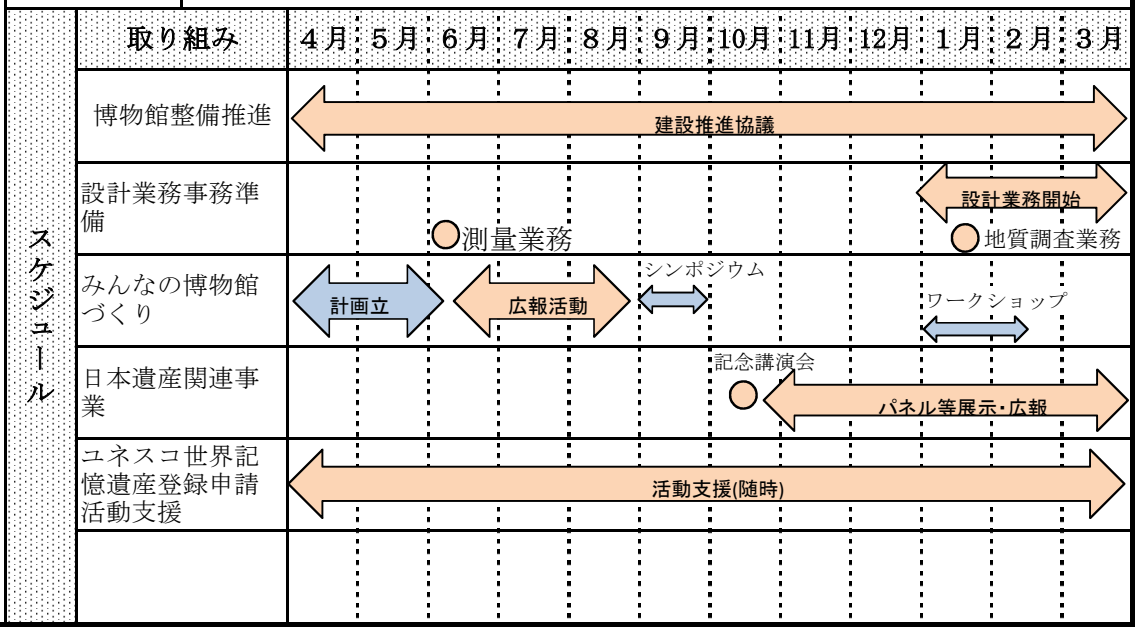
取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
物産展	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
特産品ＰＲ	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
対馬産品取扱店舗開拓	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
商品づくり勉強会・バイヤー商談会	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
海山交流事業	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№１８
個別	003-09

平成２７年度［ 総 合 政 策 部 ］ 組織目標

課　名	観 光 交 流 商 工 課 歴史のまちづくり・世界遺産登録推進室

No.	総合計画の区分	施策の大綱	固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち
		施　　策	韓国をはじめとする東アジア都市との国際交流の促進
	項　　目	国境を越えた文化交流を充実します。	
	内　　容	1　対馬博物館(仮称)施設の整備推進を行います。 2　日本遺産の認定へ向けた取組とそれを生かした対馬魅力アップ事業を行い、外国からの観光客増加を図ります。 3　朝鮮通信使の世界記憶遺産登録申請へ向けて、その活動支援を行います。	
	指　　標 (数値目標)	【今年度】 1　① 建設に係る県との協議 ② 建設に係る文化庁との協議 ③ 施設整備へ向けた設計業務事務準備（今年度中の設計委託開始） ④ みんなの博物館づくり(ソフト)事業の開始 （シンポジウム、ワークショップの開催） 2　① 日本遺産認定後の市内外への周知活動　講演会の開催 ② 日本遺産の構成資産を生かした広報・学習活動　（パネル設置） 3　① 関係会議への参加 ② 随時の支援・助言 【達成年度】 1　対馬博物館(仮称)の完成　平成３０年度 2　対馬市の日本遺産認定　平成２７年度	
	達成時期	平成３１年３月：(施設完成目標)	



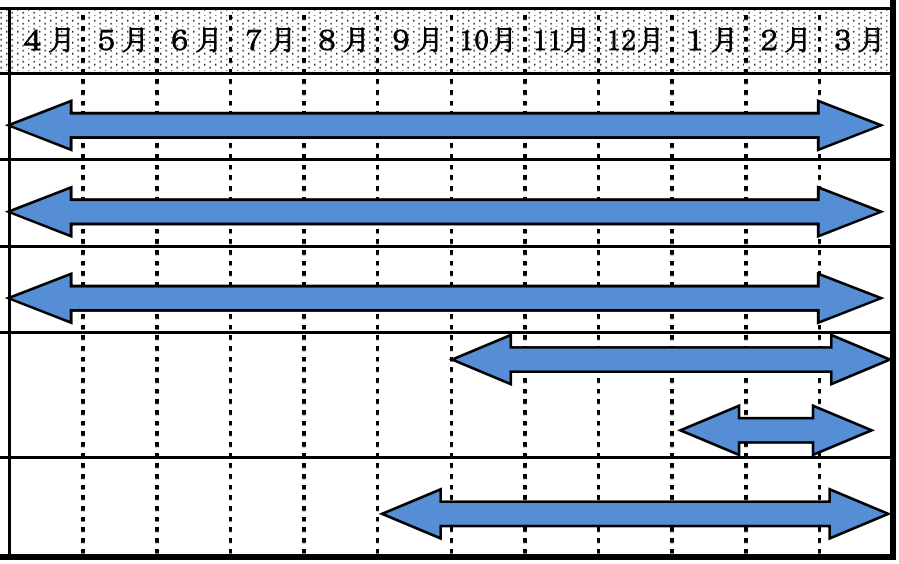
全体	№１９
個別	004-01

平成２７年度［　市　民　生　活　部　］　組織目標

課　名	市　　民　　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　　策	対象外
	項　　目	窓口ワンストップ化、親切な窓口づくり、証明書交付事務の適正化と効率化	
	内　　容	１　市役所全体業務を把握し、来訪者へ適正な説明、案内に努め窓口ワンストップ化を推進します。 ２　あいさつの励行、積極的な声かけ、丁寧な対応による親切な窓口づくりを推進します。 ３　平成２６年度から運用を開始した各窓口センター及び郵便局における証明書等交付事務について、事務の現状把握と見直しを行い、迅速な処理と正確な事務を確保します。 ４　番号制度導入にともない、事前準備・広報等による周知を行うとともに、窓口での適切な対応を行います。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 １　窓口ワンストップ化を推進します。 ２　市民の方の要求に、丁寧かつ親身な対応を積極的に行います。 ３　各窓口センター及び郵便局の証明書交付事務は、受付、審査交付に至る事務や執務環境を検証し改善を行います。 ４　個人番号カード等交付事務については、窓口処理に係るマニュアルを作成し適切な対応を行うとともに、市報等により市民の皆様への周知徹底を図ります。 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール



全体	№２２
個別	004-02

平成２７年度［ 市 民 生 活 部 ］ 組織目標

課 名	税 務 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施策	対象外
	項目	滞納処分の強化	
	内容	・ 滞納者対策の強化として、厳正な滞納処分を実施するため、積極的に財産調査、預貯金調査、生命保険等の調査を行い差押えの実施および滞納処分の停止等滞納整理の充実を図る。 ・ 臨戸徴収から自主納付（口座振替等）への推進 ・ 不動産公売の強化	
	指標（数値目標）	【今年度】 ・市税 現年分徴収率 97.50% （前年度実績） 97.26% 滞納分徴収率 15.00% （前年度実績） 11.40% ・国保税 現年分徴収率 92.40% （前年度実績） 92.32% 滞納分徴収率 12.00% （前年度実績） 10.40% 【達成年度】 ・平成２８年５月	
	達成時期	平成２８年５月	

スケジュール

取り組み	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	４月	５月
徴収強化月間							○			○	○	○
課内研修の実施		○										
滞納処分	夜間窓口(月末)											
	滞納処分（差押え、執停、公売）											
	財産調査											

全体	№２３
個別	004-03

平成２７年度［ 市 民 生 活 部 ］ 組織目標

課 名	環 境 政 策 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	豊かな自然との調和を図り、地球環境にやさしい人とまち
		施策	資源循環型社会の構築
	項目	各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションを推進します。	
	内容	・「元気野菜コンテスト」を開催している市民活動団体や生ごみ堆肥化の活動を行う各種団体を支援します。 ・生ごみと廃食油資源の再利用システム実証実験に取り組みます。	
	指標（数値目標）	【今年度】 ・第10回元気野菜コンテスト開催への支援（参加人数：100名） ・生ごみ・廃食油資源再利用システム実証実験事業の実施（回収世帯：3,000世帯） ・生ごみ等堆肥化推進によるごみ量の削減（生ごみ回収量：300t） 【達成年度】 ・平成31年度　ごみの減量化目標12%以上（対平成16年度対比） ・平成31年度　ごみの資源化目標25%以上	
	達成時期	平成３２年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
生ごみ・廃食油資源再利用システム実証実験	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
「元気野菜コンテスト」開催										○		
各種団体の支援	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	No.２２
個別	004-04

平成２７年度［ 市 民 生 活 部 ］ 組織目標

課 名	環 境 政 策 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	豊かな自然との調和を図り、地球環境にやさしい人とまち
		施策	かけがえのない自然環境の保全
	項目	海山等の自然環境を保全する活動を推進します。	
	内容	・海岸漂着物処理推進法及び長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用し、漂着物被害が著しい海岸を中心に海岸漂着物の円滑な処理を進めていきます。 ・海岸漂着物等の発生抑制のための関係者間の連携・交流等を目的とした環境学習を広く開催します。（日韓市民ビーチクリーンアップ事業等）	
	指標（数値目標）	【今年度】 ・平成26年度に実施した長崎県海岸漂着物地域対策推進事業補助金による漂着ごみの回収・処理を参考に漂着ごみの計画的な回収を実施します。 ・日韓市民ビーチクリーンアップ事業及び漂着ごみ回収イベントを実施します。（2回） ・海岸漂着物回収、処理予定数量：トン袋で17,000袋 ・漂流ごみ回収に係る海洋調査を実施します。 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
日韓市民ビーチクリーンアップ事業		○										
漂着ごみの回収・処理事業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
環境学習（海岸漂着物）	←	←	←	←	適宜開催	→	→	→	→	→	→	→
漂着ごみの回収イベントの実施					○							
漂流ごみ回収海洋調査				↔	↔	↔	↔	↔				

全体	№２３
個別	004-05

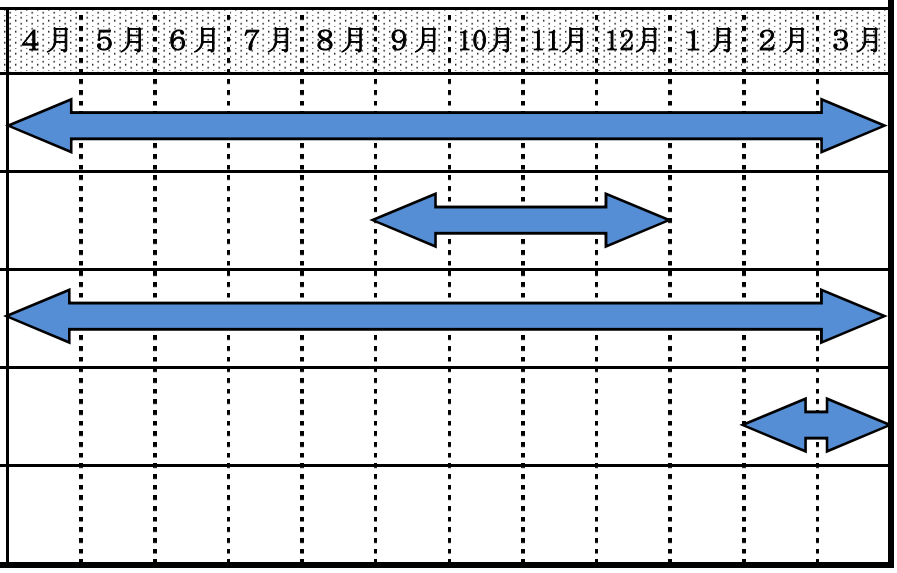
平成２７年度［ 市 民 生 活 部 ］ 組織目標

課　名	美津島行政サービスセンター

No.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　　策	対象外

項　　目	税の現年収納率の向上
内　　容	当センター管轄の税行政については、２６年度決算において数年ぶりに現年収納率を９０％台に乗せることができたが、今後更に現年収納率の向上、滞納額の圧縮に努めるために次の事項に取り組む。 ・差押えは数多く実施をしているが、訪問による接触、臨戸徴収、納税相談の件数を増やし、一時的ではなく将来の納付に繋げる。 ・過年分の滞納額の累積により、納付困難である滞納者の整理（執行停止）を図り、計画的に滞納額の圧縮に努める。 ・申告期間の相談はもとより、期間外においても適正な申告により納税者の有利、滞納者の減額に繋がる場合は積極的に支援する。
指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 具体的数値としては、現年収納率の維持向上を図る。 目標　平成２７年度現年収納率　９２．００％ 実績　平成２６年度現年収納率　９１．７４％ 平成２５年度現年収納率　８８．６６％ 平成２４年度現年収納率　８７．７８％ 平成２３年度現年収納率　８７．４４％ 【達成年度】 平成２８年度（５月末日）
達成時期	平成２８年　５月

スケジュール



全体	№２４
個別	004-06

平成２７年度［　市　民　生　活　部　］　組織目標

課　名	美津島行政サービスセンター

No.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　　策	対象外
	項　　目	水道料金の収納率向上	
	内　　容	水道料金の健全な事業運営を図る上で、水道料金収納率向上は必要不可欠ですが、美津島管内の水道料金は現年分で５５０万円以上の滞納が発生しているため、積極的な収納率向上対策に取り組み、新たな滞納額の縮減に努めます。 また、過年度分の滞納額徴収を積極的に取り組み、滞納額全体の縮減に努めていきます。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・現年度分滞納額の縮減（５００万円以下＊２７年３月末５５４万円） ・過年度分滞納額の縮減（７００万円以下＊２７年３月末８２３万円） （具体的な取り組み） ・徴収強化月間の設定（夜間徴収） ・納付奨励（納付誓約・分納）の取組強化 ・給水停止（督促・催告実施前提）の取組強化 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
夜間徴収							↔		↔		↔	
納付勧奨	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
給水停止				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	No.２５
個別	005-01

平成２７年度［　福　祉　部　］組織目標

課　名	福　祉　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	思いやりと健やかさを育む健康・福祉の人とまち
		施　策	保健・福祉サービスの充実
	項　目	高齢者福祉及び障害者福祉サービスの充実	
	内　容	・高齢者福祉サービス 高齢者が暮らしやすい環境整備と生活支援の推進を図ります。 ・障害者福祉サービス 障害者の必要に応じたサービスの提供に努めます。	
	指　標 （数値目標）	【今年度】 ・高齢者福祉サービス 高齢者生活支援事業として、食の自立支援助成（配食サービス）、生きがい活動支援助成（デイサービス）、軽度生活支援助成（ホームヘルパー）の充実を図り、在宅の高齢者がいきいきと毎日を健康で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を密にし、孤独死「ゼロ」を目指します。 ・障害者福祉サービス 職員の障害者福祉に関する知識と意識を高め、障害のある人の個別のニーズに対応した援護措置、相談事業、福祉のまちづくり事業等などのサービス提供を図り、障害者が地域において自立した日常生活や社会生活を営まれるよう、関係機関と連携体制を確立し、住みよい地域づくりに努め、苦情「ゼロ」を目指します。 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	高齢者福祉サービス	←											→
	障害者福祉サービス	←											→

全体	№２６
個別	005-02

平成２７年度［　福　祉　部　］組織目標

課　名	こ　ど　も　未　来　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	思いやりと健やかさを育む健康・福祉の人とまち
		施　　策	保健・福祉サービスの充実
	項　　目	保育料収納率の向上	
	内　　容	未納保育料及び滞納保育料については、納入催促通知書等の通知、臨戸徴収や納付相談を実施するとともに、各担当者との連携を図り、早めの徴収を念頭に収納率の向上を目指します。 【平成２６年度実績】 現年分収納率　　９６．５％ 滞納分収納率　　４０．４％	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 対馬市未収入保育料事務取扱内部規定の見直しを行い、確実に業務を遂行します。 現年分収納率　　９８．０％ 滞納分収納率　　５５．０％ 【達成年度】 【平成２８年度】 現年分収納率　　９９．０％ 滞納分収納率　　６５．０％	
	達成時期	平成２９年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
未納者徴収実施				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
滞納者徴収実施			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№２７
個別	005-03

平成２７年度［　福　祉　部　］組織目標

課　名	こ　ど　も　未　来　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	思いやりと健やかさを育む健康・福祉の人とまち
		施　　策	保健・福祉サービスの充実
	項　　目	職員相互の連携体制の強化による適正な支援サービスの提供	
	内　　容	通常業務におけるチェック体制とバックアップを行うための協力体制の確立を図ります。 〇各業務における問題点や課題を把握し、常に迅速な対応を行うための体制づくりを心がけます。 〇業務内容を熟知し、各担当の役割や連携体制を検討します。 〇常にコミュニケーションを取り、迅速な対応と事務の効率化を図ります。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ※苦情「ゼロ」に向けた体制づくり 〇自己業務のみに止まらず、他者の業務への理解と協力 〇担当業務を熟知し責任感をもって、市民の立場に立った迅速な対応 〇窓口・電話等の接遇マナーの徹底 〇あいさつプラス１運動の導入 〇毎週１回の課内会議の開催による情報共有 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	上記全般	←											→

全体	№２８
個別	006-01

平成２７年度［　保　健　部　］組織目標

課　名	健　康　増　進　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	思いやりと健やかさを育む健康・福祉の人とまち
		施　策	保健・福祉サービスの充実
	項　目	健康つしま２１計画の推進	
	内　容	生涯を通じて元気に生きるための健康づくりの行動指針や推進方策を示す保健計画「健康つしま２１」に基づき、効果的な活動を展開していきます。	
	指　標（数値目標）	【今年度】 平成２７年度は下記のとおり実施する。 ■ 歩いてつくる元気のわキャンペーンを継続して実施する。 ■ 市内５か所のウォーキング大会を主催または共催等により実施し、市民の健康づくりに役立てる。参加者総数１０００名を目標とする。 ■ 健康づくり等の情報をＣＡＴＶや市報等で発信する。 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
歩いてつくる元気のわキャンペーン実施	継続実施・広報											
ウォーキング大会計画・実施	大会実施・広報											
健康・保健情報発信	CATV・市報・イベント・健康教育･ホームページで情報発信											

全体	No.２９
個別	006-02

平成２７年度［　保　健　部　］組織目標

課　名	健　康　増　進　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	思いやりと健やかさを育む健康・福祉の人とまち
		施　策	保健・福祉サービスの充実
	項　目	慢性腎臓病（ＣＫＤ）対策	
	内　容	慢性腎臓病（ＣＫＤ）の発症や進行は糖尿病等を起因とする生活習慣病が強く関わっており、その改善や薬物療法等によって進行を抑えることが可能な疾患であるにも関わらず、その重要性が十分に理解されていない。日本では成人人口の１０．６％が慢性腎臓病（ＣＫＤ）と予測され、重症化した際の透析患者は医療費高騰の要因である。そこで、対馬保健所等と協力して平成２５年度から３カ年計画で対策事業を実施する。 併せて、調剤薬局薬剤師による糖尿病性腎症重症化予防事業を実施する。	
	指　標 （数値目標）	【今年度】 平成２７年度は下記のとおり実施する。 目標：ＣＫＤ予備軍に絞った取り組みを実施する。 ■ ＣＫＤについて理解を深める。 ■ 糖尿病受診勧奨レベル者に対するアプローチで、ＣＫＤリスク者を減少させる。（レベル者の減少及び治療中断者の防止） ■ 検討会・研修会に参加する。 ■ ＣＡＴＶや広報等で普及啓発する。（年４回以上） ■ 糖尿病性腎症重症化予防事業参加希望者に生活習慣改善のための保健指導を実施する。 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
糖尿病受診勧奨レベル者に対するアプローチ			特定健診結果によりアプローチ									
広報活動	広　報　活　動											
検討会・研修会	検討会・研修会											
糖尿病性腎症重症化予防事業				保健指導実施								

全体	№３０
個別	006-03

平成２７年度［　保　健　部　］組織目標

課　名	健　康　増　進　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	思いやりと健やかさを育む健康・福祉の人とまち
		施　　策	保健・福祉サービスの充実
	項　　目	市民健診の受診率向上	
	内　　容	平成２０年度からスタートした特定健診も８年目を迎えます。対馬市特定健診・保健指導プログラムに基づき、特定健診受診率の向上と保健指導の充実を図っていきます。 ・受診勧奨広報活動を強化して特定健診受診率４０％、特定保健指導初回面接実施率６５％を実現する。 ・生活習慣病の予防に資する講演会を開催する。 ・健診推進員を雇用し、未受診者への電話や臨戸訪問等による勧奨を図り、受診率の向上を推進する。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 特定健診受診率４０％を目標とする。 特定保健指導初回面接実施率６５％を目標とする。 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
集団型健診		広報活動					実施					
節目型健診		広報活動										
			実施期間									
個別型健診		広報活動										
			実施期間									

全体	№３１
個別	006-04

平成２７年度［　保　健　部　］組織目標

課　名	地域包括・医療対策課

№.	総合計画の区分	施策の大綱	思いやりと健やかさを育む健康・福祉の人とまち
		施　策	医療・救急医療体制の充実 保健・福祉サービスの充実
	項　目	地域包括ケアシステム構築の推進	
	内　容	団塊の世代が後期高齢者となる2025年（平成37年）に向けて、地域包括ケアシステム（医療・介護・介護予防・生活支援・住まいの５つのサービスが連携した、高齢者が安心して生活できるまちづくり）の構築を目指し、検討委員会を設置します。 検討委員会で各方面の意見を取りまとめ、対馬市の実情に合った地域包括ケアシステムのあり方、目指すべき方向性について提言書を作成します。	
	指　標 （数値目標）	【今年度】 ・講演会の開催（１回） ・検討委員会開催（５回以上） 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２７年１２月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
講演会の開催	○											
検討委員会の設置・開催	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔				
提言書の提出									○			

全体	№３２
個別	007-01

平成２７年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	農 林 ・ し い た け 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施策	地場産業の振興と観光との連携
	項目	對馬椎茸“やる倍”ナバダス計画総合対策支援事業	
	内容	『對馬椎茸“やる倍”ナバダス計画』に基づき、計画的にしいたけ振興策を図ります。 ①生産者のやる気を倍増 価格の安定化(生しいたけ安定価格買取) ②生産量を倍増 作業の効率化(生産団地・省力化機械器具導入、種駒補助制度) ③系統(全農市場)外出荷量を倍増 分業化・安定供給(量、品質、納期)に向けたルールづくり	
	指標 (数値目標)	【今年度】 ○大型生産団地導入支援　１団地 ○しいたけ生産推進　種駒補助1,300万個　原木補助26万本 ○対馬しいたけ販路拡大流通体制構築支援 物産展10回　調理方法開発・発信１式 ○しいたけ生産者後継者　３名　選別作業員　８名 ○生産量　乾８０トン　生８０トン 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成３１年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
対馬しいたけ販路拡大流通体制構築事業			←								→	
大型生産団地導入支援事業				←								→
対馬しいたけ後継者・選別作業員育成及び生産農家自立支援事業	←			→								
しいたけ生産推進事業(種駒補助・原木補助)	←										→	

全体	№３３
個別	007-02

平成２７年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課　名	農 林 ・ し い た け 課

№.	総合計画の区分	施策の大綱	豊かな自然との調和を図り、地球環境にやさしい人とまち
		施　　策	環境王国の樹立に向けた低炭素型社会の構築
	項　　目	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業	
	内　　容	【市有林整備】 市有林及び分収林の森林整備を推進します。 【Ｊ－ＶＥＲ制度関係】 市有林間伐による二酸化炭素吸収量のクレジット化と販売促進を行います。また、森林組合と協働し、私有林の整備によるクレジット発行も進めていきます。 【基金の活用】 民有林を含め、森林整備促進のための新たな財源として活用します。 また、森林づくり基本計画及び伐採ガイドラインの実行施策への財源として活用します。	
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 【市有林整備】 ①森林整備面積：16ha（利用間伐） ②路網整備：Ｌ＝3,000m 【Ｊ－ＶＥＲ制度関係】 ①クレジット売買のための企業訪問やイベントへの参加（５回） ②クレジット販売：１００ｔ-CO2（収入金：800千円） ③新規契約件数：３件 【基金の活用】 ①ツシマヤマネコの森林づくり事業委託料（1,500千円） ②森林環境に配慮した森林整備補助金（2,500千円） 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール

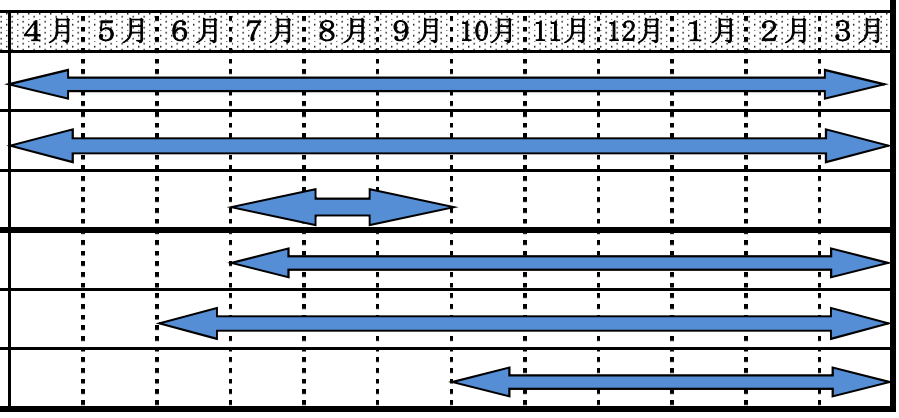
取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
①森林整備（利用間伐及び路網整備）					↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
②企業訪問、マッチングイベントへの参加	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
③基金事業					↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№３４
個別	007-03

平成２７年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課　名	農 林 ・ し い た け 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施　　策	対　象　外
	項　　目	対馬猪鹿活用促進事業	
	内　　容	対馬猪鹿活用促進事業で、防護柵の位置情報、捕獲情報等の有害鳥獣対策の現状把握をさらに進め、要請があった地区には直接出向き、地域住民に情報をフィードバックしたい。ただし対策の主体は地域であり、行政は対策をサポートするため蓄積された情報を根拠に効果的な体制づくりのサポートに徹したい。(行政依存体質の脱却) 被害対策を推進するための防護柵の整備については、新規柵の整備、既存柵の機能向上、居住区域内安全対策、家庭菜園等防護柵と、事業メニューが多く市民の理解度が低い事から、期間を定めて「イノシシ・シカに関する対策相談」等を個別に開催し、農業振興と被害対策についての正確な情報提供に努める。※対馬振興局農業振興普及課による農業指導も同時開催計画中。 また、農林業従事者、有害鳥獣捕獲従事者、行政担当等でワークショップを開催し、農林業振興と有害鳥獣問題を横断的、多面的に話し合い問題解決に向けた意見の集約を実施する。さらには有害鳥獣対策に多くの市民が関わるためのきっかけに皮革製品や食肉加工品等、利活用の普及啓発活動を行う。	
	指　　標 (数値目標)	【 今 年 度 】 ①地域主導の被害対策推進地区増加数：5地区 ②地区捕獲隊増加数：5地区 ③「イノシシ・シカに関する対策相談」開催：12箇所 ※対馬振興局農業振興普及課による農業指導も同時開催計画中。 ※各町2箇所づつ島内12箇所で開催。 ④ワークショップ開催：年4回 ⑤有害鳥獣利活用及び人材・担い手（対馬の子供達）育成 ⑥各種防護対策の実施 【 達 成 年 度 】 ・同　　上	
	達 成 時 期	平成２８年３月	



全体	№３５
個別	007-04

平成２７年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課　名	農 林 ・ し い た け 課

№.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施　　策	地場産業の振興と観光との連携
	項　　目	学校給食地場農林水産物導入事業	
	内　　容	学校給食での地場農林水産物利用に係る食材供給について、特産・推奨品である椎茸・あか牛・野菜及び水産物購入への支援を行います。	
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 農林水産物の需給システムを構築します。 学校給食に地場産品を使用する割合：重量比 ・米　年40回　（補助限度回数） ・しいたけ　100% ・野菜 ※　30% うち、アスパラガス　60% たまねぎ　40% じゃがいも　40% ・海藻類　年30回以上 ・魚介類　年35回以上 ※野菜は、しいたけ・果物を除くすべての野菜 【 達 成 年 度 】 ・同　　上	
	達 成 時 期	平成２８年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
需給システムの検討				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
給食への導入	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	

全体	№３６
個別	007-05

平成２７年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	水 産 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	豊かな自然との調和を図り、地球環境にやさしい人とまち
		施策	かけがえのない自然環境の保全
	項目	「海洋保護区の設定」	
	内容	水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るために「海洋保護区」の設定を目指します。設定推進協議会は、科学的根拠に基づく科学委員会の答申を検討し、区域設定や区域内の資源管理計画を策定し、国や県などに働きかけて対馬らしい海洋保護区の設定を目指します。	
	指標（数値目標）	【今年度】 ①魚種漁法毎の７部会等を通して資源管理計画を作成します。 ②科学委員会報告書概要版、海洋保護区リーフレットを配布します。 ③海洋保護区ＰＲ番組、ホームページ等を作成します。 ④資源管理活動のデータ化を行います。 ⑤海洋保護区設定に関連する国内法、国際法の整理を行います。 ⑥九州大学等外部研究機関との連携を深めます。 【達成年度】 ・「海洋保護区」の設定	
	達成時期	海洋保護区設定については可能な限り早期の設定を目指します。	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
資源管理計画作成			入札契約	←								→
ＣＡＴＶ番組などＰＲツールの製作			入札契約	←								→
九州大学等との連携	←					ワークショップ						ワークショップ →
水産資源管理活動のデータ化	←											→
関連法の整理				←								→

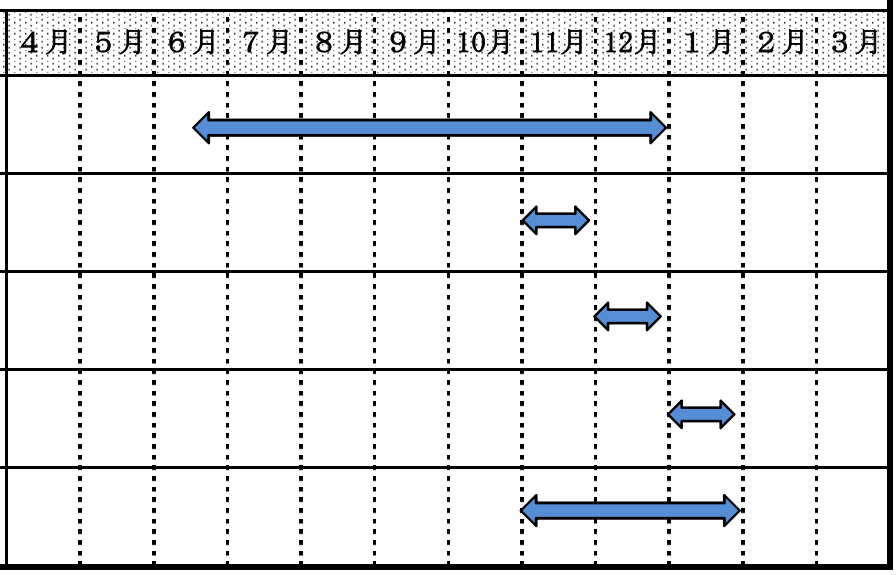
全体	№３７
個別	007-06

平成２７年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	水 産 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施策	地場産業の振興と観光との連携
	項目	「対馬食通祭の開催」	
	内容	・島内では、対馬産の素晴らしさが島民に理解されておらず、島外においては、対馬産の露出が少ないため知名度も低い状況です。第一次産業の再興を図るためには、地産地消の拡大及び対馬産の需要度を高める必要があり、そのため新鮮な魚や旬な農産物が本土より安く、豊富に食べることができる島の魅力を島内外に広めることが必要となっています。その一環として、対馬市産物消費拡大推進事業を展開します。	
	指標（数値目標）	【今年度】 〇第一次産業と観光の融合を目指すため、今年度も、対馬の農水産物の消費拡大と島のＰＲを行うため３ヶ月間イベントを実施します。期間中はオープニング、中間、エンディング、期間中のイベントと、４つのイベントを開催します。 【達成年度】 ・同 上	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール



全体	№３８
個別	007-07

平成２７年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	水 産 課

№.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施策	地場産業の振興と観光との連携
	項目	「魚礁設置」	
	内容	・対馬沿岸域における水産資源の低迷により、対馬市の漁業生産量は減少し続けていることから、その対策の一つとして魚礁を地先漁業権内に設置し、漁業生産量の確保を図ります。地先漁業権内に魚礁を整備することで近場の漁場が整備され、漁業者の高齢化にも配慮した環境が整えられます。	
	指標（数値目標）	【今年度】 ○漁礁12,000空㎥（小綱１・２・水崎１・２・阿連：7,500空㎥ 高浜・安神・久和：4,500空㎥） ※今後の計画 ○H28魚礁3,000空㎥（瀬・豆酘） 【達成年度】 全体計画[H24～28年度]：魚礁1箇所1,500空㎥*17箇所=25,500空㎥	
	達成時期	平成２９年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
小綱１・２・水崎１・２・阿連						←					→	
高浜・安神・久和							←					→

全体	№３９
個別	007-08

平成２７年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	水 産 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施策	地場産業の振興と観光との連携
	項目	「水産物の輸送費補助」	
	内容	・水産物を島外へ出荷する際の輸送コストに係る経費を財政的に支援することで、漁業者の所得安定及び減少に歯止めをかけ、漁業の発展へ繋げます。	
	指標（数値目標）	【今年度】 ○１６８万２千箱以上分に対しての支援を行い、漁業者の負担軽減を図ります。 【達成年度】 ・同 上	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	補助対象期間	←											→

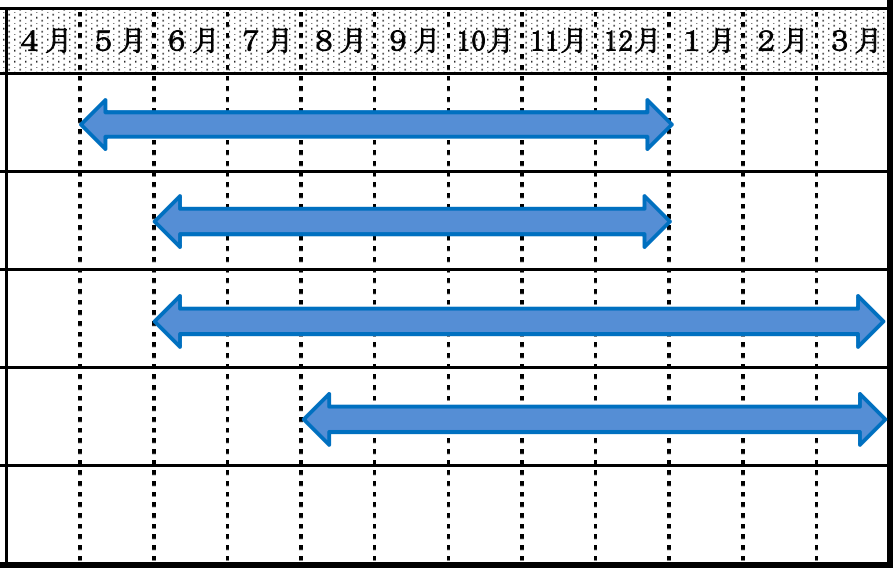
全体	№４０
個別	007-09

平成２７年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	基 盤 整 備 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施策	地場産業の振興と観光との連携
	項目	基盤整備工事の早期発注、早期完成	
	内容	農林道整備、漁港漁場整備等の公共工事は、第一次産業の基盤整備として、市民生活の利便性の向上を目指すものであります。 その中で事業の早期着工は、市の経済流通の初動を促し、市民生活を活性化させると共に、早期完成は市民の生活基盤の底上げにつながるものであり、本年度においても計画的な発注を行い年内に委託業務完了100%及び工事の執行100%を目指します。	
	指標（数値目標）	【今年度】 平成27年度建設工事発注予定額(通常分)　1,372百万円 平成27年度建設工事発注予定件数(通常分)　委託 13件 工事 20件 平成27年度建設工事発注予定額(H26補正分)　48百万円 平成27年度建設工事発注予定件数(H26補正分)　工事 1件 平成27年度12月　委託業務完了予定額　100%目標（72百万円） 平成27年度12月　委託業務完了予定件数　委託 13件 平成27年度12月　工事執行予定額　100%目標（1,348百万円） 平成27年度12月　工事執行予定件数　工事 21件 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２７年１２月	

スケジュール



全体	№４１
個別	008-01

平成２７年度 ［ 建 設 部 ］ 組織目標

課 名	管 理 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち
		施策	対象外
	項目	市営住宅使用料未収金の縮小	
	内容	市営住宅の使用料について、受益負担の原則、また使用料を滞納し支払いを逃れようとする者と善者との負担の公平性の観点から、市営住宅使用者に公平に負担していただくために、徴収方法を定めた対馬市営住宅家賃滞納整理事務処理要綱に基づき未収額の縮小に努めます。 ・ 滞納者には、文書による督促事務を行い、長期滞納者に対しては文書による確約等を締結し、分納指導を実施します。 ・ 確約不履行等の悪質滞納者には、裁判所による明け渡し命令等の法的手続きを行います。	
	指標（数値目標）	【今年度】 市営住宅使用料徴収率（現年分＋滞納分） ９１．００％（前年度実績８５．１６％） （上段：目標、下段：実績） H21 96.10% 88.19% H22 89.27% 85.44% H23 90.15% 85.26% H24 91.04% 85.75% H25 91.84% 85.97% H26 91.84% 85.16% H27 91.00% 【達成年度】 ・同 上	
	達成時期	平成２８年 ３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
滞納者と協議			←									→
関係機関との協議				←								→
徴収率向上に向けた行動			←									→

全体	No.４２
個別	008-02

平成２７年度［　建　設　部　］組織目標

課　名	建　設　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち
		施　策	身近な道路交通ネットワークの整備促進
	項　目	公共工事の早期発注、早期完成に努めます。	
	内　容	公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって市民の生活基盤の底上げを図ります。	
	指　標（数値目標）	【今年度】 平成27年度12月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計） 8 件　59 百万円　《100%目標》 平成27年度12月末設計書作成件数及び予定額（工事） 15 件　521 百万円　《100%目標》 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２７年１２月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
測量・調査・設計委託の設計書作成		←							→			
工事の設計書作成		←							→			
測量・調査・設計委託の管理及び完成			←									→
工事の施工管理及び完成				←								→

全体	№４３
個別	009-01

平成２７年度［ 水 道 局（ 部 ）］ 組織目標

課　名	水　　道　　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち
		施　　策	安全で質の高い住環境の整備
	項　　目	水道事業及び簡易水道事業の経営統合	
	内　　容	対馬市の水道事業は、平成１６年３月の対馬市発足以来、旧厳原町で運営しています「水道事業会計」と、旧厳原町以外の旧５町で運営しています「簡易水道事業特別会計」の２つの料金体系で事業運営を行っています。 平成１９年に、簡易水道事業の統合促進を目的とし、簡易水道事業に係る国庫補助制度の見直しがなされ、対馬市では、平成２１年３月に「対馬市水道ビジョン」を策定し、平成２８年度末に水道事業と簡易水道事業を経営統合することとし、目標管理と経営の効率化、健全な事業運営に努めています。 平成２９年４月１日に水道事業と簡易水道事業の経営統合を行い、異なる料金体系の見直し、統一を図り、水道料金負担の不均衡を是正し、水道事業の更なる経営改善に努めていきます。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 今年度は、主として以下のことに取り組みます。 ① 固定資産及び水道資産把握 ② 統合後の水道料金設定に向けての検討 ③ 水道事業統合のため国へ認可申請 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２９年　４月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
固定資産及び水道資産の調査・把握	←	―	―	―	→							
水道料金の検討							←	―	―	―	→	
経営統合認可申請	←	―	―	―	―	―	―	―	→			

全体	№４４
個別	009-02

平成２７年度［ 水 道 局（ 部 ）］ 組織目標

課　名	水　　道　　課

№.	総合計画の区分	施策の大綱	快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち
		施　　策	安全で質の高い住環境の整備
	項　　目	水道料金の収納率向上	
	内　　容	今後、人口減少が見込まれる中水道料金の収納率向上は、経営の効率化と安定化のためには喫緊の課題であり、主として以下のことに取り組みます。 ①　新規滞納者の減少 ②　納付確約（分納）者の取り組み強化 ③　給水停止の強化	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 収納率（現年分） 対馬市水道事業　　９６．５％　（前年度実績　９５．６１％） 対馬市簡易水道事業　　９８．５％　（前年度実績　９８．２７％） 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年　５月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
納付勧奨（督促・催告）	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
給水停止		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	№４５
個別	010-01

平成２７年度［中　対　馬　振　興　部］　組織目標

課　名	地　域　振　興　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち
		施　　策	独自の地域資源を活かした交流人口の拡大
	項　　目	イベントと連携した体験型観光の推進	
	内　　容	・豊玉管内で開催される、イベント（シーカヤック大会）と連携した体験型観光を推進し、浅茅湾をはじめ、和多都美神社などの観光資源の活用を促進する。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 シーカヤック大会参加者数　１００名（平成２６年度応募者　６１名） ※平成２６年度は、台風のため開催中止 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	イベント連携準備及び開催				←		→						

全体	№４６
個別	010-02

平成２７年度［中　対　馬　振　興　部］　組織目標

課　名	地　域　振　興　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち
		施　　策	独自の地域資源を活かした交流人口の拡大
	項　　目	観光地の景観維持活動	
	内　　容	・神話の里自然公園や烏帽子岳展望所等の景観維持活動を行います。 ※本年度においても、国県道沿いの空き缶拾い等の清掃活動は継続するものの、自然環境の維持に重点をおき、観光客をはじめとした、神話の里、烏帽子岳展望所の利用者に心地よい場を提供し、観光客の誘致に努めるため、対象とする施設を絞った。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 職員による園内の朽木伐採と景観維持を実施します。（年２回実施） 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	樹木伐採、草刈り清掃・植樹作業				←							→	

全体	№４７
個別	010-03

平成２７年度［ 中 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	住　民　生　活　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　　策	対象外

	項　　目	環境整備・窓口の適正な業務、親切、丁寧な対応
	内　　容	○不法投棄防止の啓発に努めます。 ○ 来庁者にまず「あいさつ」で接し、「親切」「丁寧」な対応を！ そして事務処理において、常に「確認」を心がけます。
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 ・不法投棄箇所数の削減 ・ 窓口、苦情件数「ゼロ」を目指します。 【達成年度】 ・同　　上
	達成時期	平成２８年　３月

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	・不法投棄箇所等の情報収集 ・放送、看板等による啓発活動	←											→
	・あいさつ ・丁寧迅速な対応	←											→

全体	№４８
個別	010-04

平成２７年度［ 中 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	住　民　生　活　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　　策	対象外
	項　　目	税・水道料金の納付促進	
	内　　容	① 税の徴収率向上 ② 水道料金徴収率の向上	
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 ・税の現年徴収率を９５％以上に、滞納分徴収率を１０％以上にします。 ・水道料金の現年分徴収率を９９％以上に、未収額を８０万円以下にします。 【 達 成 年 度 】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年　５月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	・納税相談 ・誓約の履行	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	・時間外徴収	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№４９
個別	010-05

平成２７年度［ 中 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	峰行政サービスセンター

No.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　　策	対象外
	項　　目	快適な窓口サービスの提供	
	内　　容	来庁されるお客様が、スムーズに用件を済まされるよう、窓口体制の構築及びサービスの向上に努めます。 ・主担当不在時の他職員のサポート体制の強化 ・懸案事務に係る所内会議の徹底 ・笑顔で挨拶、迅速かつ丁寧な対応、窓口の美化	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 お客様のご用件に親切丁寧に対応し、お客様に満足いただける様、快適なサービス環境の構築により、「苦情ゼロ」を目指します。 また、庁舎及び窓口の美化に努めます。 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
窓口対応	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
環境美化	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№５０
個別	011-01

平成２７年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	地　域　振　興　課

№.	総合計画の区分	施策の大綱	固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち
		施　　策	独自の地域資源を活かした交流人口の拡大

1	項　　目	豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光の推進
	内　　容	北部対馬の豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光を推進することにより、交流人口を増やし、産業を活性化させることで、地域の雇用拡大・消費拡大を図り、賑わいを取り戻すことを目指します。 ○トレッキングコースの整備 ○三宇田地域整備方針の検討
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ○対馬の自然を活かした観光地整備を行い、観光客への満足度を高め、交流人口の拡大を目指す。 トレッキングコースの整備 コースマップの作成 モニターツアーの実施 ○観光客の満足度を向上させるため、三宇田地域の整備方針決定 【達成年度】 ・同　　上
	達成時期	平成２８年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
トレッキングコースの整備			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
三宇田地域整備方針の検討	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№５１
個別	011-02

平成２７年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	住　民　生　活　課

№.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　　策	対象外
	項　　目	窓口サービスの適正・迅速化と電話対応の向上	
	内　　容	職員相互間の情報の共有化を図り、市民ニーズに対し広い間口体制を構築し、主担当が不在でも市民ニーズに応えられる体制づくりと、窓口・電話対応の向上を目指します。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・窓口対応の適正・迅速化を図る。（平均１分間の短縮を図る。） ・窓口・電話対応に対する苦情「ゼロ」を目指す。 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
窓口サービスの適正・迅速化	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
電話対応の向上	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	№５２
個別	011-03

平成２７年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	北 部 建 設 事 務 所

No.	総合計画の区分	施策の大綱	快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち
		施　　策	身近な道路交通ネットワークの整備促進
	項　　目	公共工事の早期発注、早期完成	
	内　　容	公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって、市民の生活基盤の底上げを図ります。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 平成27年度12月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計委託） 総務費　６件　８４百万円 農林水産業費　２件　２２百万円　《100％目標》 土木費　１６件　２１６百万円 平成27年度12月末設計書作成件数及び予定額（工事） 農林水産業費　７件　２７１百万円　《100％目標》 土木費　１７件　７０８百万円 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２７年１２月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
測量・調査・設計委託の設計書作成	←	―	―	―	―	―	―	―	→			
工事の設計書作成			←	―	―	―	―	―	→			
測量・調査・設計委託の管理及び完成			←	―	―	―	―	―	―	―	―	→
工事の施工管理及び完成				←	―	―	―	―	―	―	―	→

全体	№５３
個別	011-04

平成２７年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	上県行政サービスセンター

№.	総合計画の区分	施策の大綱	固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち
		施　　策	独自の地域資源を活かした交流人口の拡大
	項　　目	観光基盤の充実と体験型観光の推進	
	内　　容	対州馬、ツシマヤマネコなどの対馬固有の地域資源を活用し、島外からの交流人口の拡大を図る。 ・対州馬とのふれあい事業の実施 ・対州馬保存管理計画の策定	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 馬事公園の交流人口の拡大 目標数値　　年間　５，０００人 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
対州馬とのふれあい事業	←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→
対州馬保存管理計画の策定	←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→

全体	№５４
個別	011-05

平成２７年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	上県行政サービスセンター

№.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　　策	対象外
	項　　目	窓口及び電話対応の向上	
	内　　容	前年度に引き続き職員相互の情報の共有化を図り、各担当の業務内容の把握に努め、担当不在時の対応や複数来客時の対応など、窓口サービスの向上に努めます。 また、電話対応では、相手の立場に立った親切丁寧な対応に心がけ、トラブルがないように努めます。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・窓口、電話対応に対する苦情件数「ゼロ」を目指します。 ・毎週初めに朝礼を行い、職員相互の業務等の共有化を密にします。 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
積極的、親切丁寧な窓口・電話対応	←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→
朝礼の実施	←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→

全体	№５５
個別	011-06

平成２７年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	上県行政サービスセンター

№.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　　策	対象外
	項　　目	地域イベント・ボランティア活動への参加	
	内　　容	前年度に引き続き、地域で開催されるイベントやボランティア活動に積極的に参加し、市民協働を推進していきます。	
	指　　標（数値目標）	【今年度】 職員の参加率　５０％を目標 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
地域イベント・ボランティア活動への参加	←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→

全体	№５６
個別	011-07

平成２７年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	上県行政サービスセンター

№.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　　策	対象外
	項　　目	庁舎内外の清掃の徹底	
	内　　容	前年度に引き続き、庁舎内外の清掃及び環境美化に努める。 ・庁舎内の週一回の清掃の徹底 ・庁舎周囲の環境美化活動の実施 ・ゴミの分別、減量化の徹底	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 全職員が協力して庁舎の清掃を行い、来庁者に不快感を与えない職場環境美化に努める。 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
庁舎内外清掃の徹底	←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→
ゴミの減量化、分別の徹底	←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→

全体	No.５７
個別	012-01

平成２７年度［　消　防　本　部　］　組織目標

課　名	総務課（消防団）

No.	総合計画の区分	施策の大綱	快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち
		施　　策	安全で質の高い住環境の整備
	項　　目	分団車両の適正配置及び団員の安全装備品配備を進めて行きます。	
	内　　容	昨年度、分団の統合によって地区の組織作りが概ね完了し消防団の体制が見えてきました。 本年度は、分団車両の適正配置の構築。合わせて消防団員の安全装備品の配備に着手します。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ●分団車両の適正配置 核となる分団・・ポンプ車又は普通積載自動車 分団の「部」・・軽積載自動車 車両更新時期に合わせた配置計画を進めて行きます。 ●団員安全装備品配備計画を進めて行きます。（本年度予算計上） 安全半長靴・耐切創性手袋・ライフジャケット・ヘッドライト 【達成年度】 団車両更新計画・・平成２７年度末 団員安全装備品配備計画（３カ年計画）・・平成２９年度末	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
消防団組織等改革推進委員会	○							○				○
車両適正配備に向けた協議	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
団員安全装備品配備（入札）			↔	↔								
団員安全装備品配備（入荷予定）							↔	↔				
団員安全装備品配備（配備）									↔			

全体	No.５８
個別	012-02

平成２７年度［　消　防　本　部　］　組織目標

課　名	警　　防　　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち
		施　　策	安全で質の高い住環境の整備
	項　　目	応急手当の普及啓発活動	
	内　　容	「身近な人は自分達で守る」を主眼とし、救急隊到着までの市民による応急手当（心肺蘇生法・ＡＥＤの使用・止血法）の実施は極めて重要です。３カ年計画で進められた対馬市内のＡＥＤ設置普及が１６８施設、民間施設も合わせると２０１基と設置台数も増加しており、設置施設の関係者だけでなくＡＥＤの必要性を広く市民に周知して、万が一の事態に備える必要があります。 本年度もＣＡＴＶ、市報等により広報を実施すると共に応急手当ｅーラーニングを活用して講習会の受講時間の短縮を図りながら救急法等の普及に努めます。	
	指　　標（数値目標）	【今年度】 受講者数は年々増加傾向にあり昨年初めて２，０００名を越えましたが、目標受講者数の２，５００名は達成できませんでした。これからも、ＡＥＤ設置区民を対象にその効果や重要性を訴えて、受講機会を設け続けるなど、これまで以上の普通救命講習及び救急法の指導推進に努め、併せて、ＢＬＳ普及会と協力しながら目標達成を目指します。 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２８年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
救命講習指導推進				←		→				←		→
推進広報の実施（ＣＡＴＶや市報等を活用）						←			→			

全体	No.５９
個別	012-03

平成２７年度［対馬市消防本部］　組織目標

課　名	予　　防　　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　　策	対象外
	項　　目	住宅用火災警報器設置促進及び防火対象物の防火対策に取り組みます。	
	内　　容	１　住宅用火災警報器設置促進のため、火災予防運動や広報を通して設置促進を図るとともに、住宅防火モデル地区の指定を行います。 ２　小規模な既存の宿泊施設に対する自動火災報知設備の早期設置指導を行います。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 １　住宅防火診断を行い、住宅用火災警報器設置率５０％未満の地区を「ゼロ」にします。 　また、住宅防火モデル地区の指定を行います。 ２　自動火災報知設備の義務対象となる小規模な既存の宿泊施設５１施設に対して再通知を行い、全施設の早期設置に取り組みます。 （設置猶予期間平成３０年３月３１日迄） 【達成年度】 ・平成２７年度末	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
住宅用火災警報器設置促進			↔	↔		↔	↔	↔	↔		↔	↔
防火対象物の防火対策		↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔			↔	↔

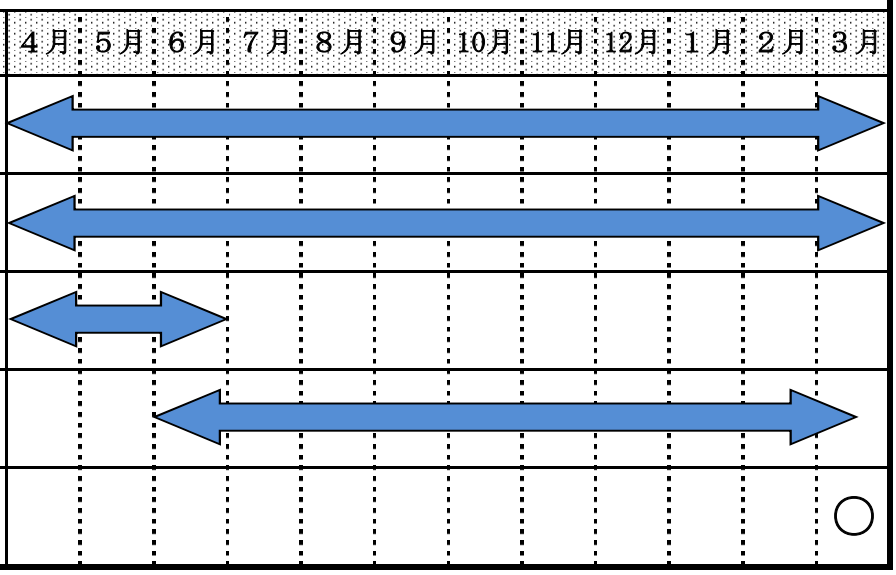
全体	№６０
個別	013-01

平成２７年度［教育委員会事務局］　組織目標

課　名	総　　務　　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	地域が連携して支える教育・文化の充実した人とまち
		施　　策	安心して学べる学校教育環境の構築
1	項　　目	教育施設の充実・整備、有効活用を推進します。	
	内　　容	平成２３年２月４日に示された対馬市立学校適正規模、適正配置等検討委員会の答申を受け、対馬市の未来を託す子どもたちが豊かな人間関係を築き、社会性の醸成を図っていけるような教育環境を整えるため、対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画に基づき保護者説明会及び地区説明会を実施し、学校及び地域住民の理解のもと学校統廃合を進めます。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・統合校　１校 【達成年度】 中期計画（平成２８年度まで）　小学校　２７校　→　１９校 中学校　１５校　→　１３校 幼稚園　４園　→　３園 長期計画（平成３３年度まで）　小学校　１９校　→　１１校 中学校　１３校　→　６校	
	達成時期	平成３４年３月	

スケジュール



全体	№６１
個別	013-02

平成２７年度［教育委員会事務局］　組織目標

課　名	学　校　教　育　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	地域が連携して支える教育・文化の充実した人とまち
		施　　策	安心して学べる学校教育環境の構築

2	項　　目	確かな学力・豊かな心を育む教育活動の推進
	内　　容	【一人一人を大切にした教育活動の推進】 １．対馬市の地域特性を踏まえた教育の充実 ２．教育内容の充実と指導力の向上 ３．特別支援教育の充実 ４．不登校児童生徒対策の充実・推進
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 １．対馬市の地域特性を踏まえた教育の充実 ◎複式学級における学習指導の充実 ◎中高一貫教育の推進 ２．教育内容の充実と指導力の向上 ◎基礎・基本の徹底を図る指導方法の工夫と授業改善の推進 ◎各種研修会や学校訪問、指定研究校制度の実施 ◎環境保全を中心にしたESD教育の展開 ３．特別支援教育の充実 ◎県立虹の原特別支援学校高等部対馬分教室との連携を探る。 ①各種研修会や交流学習等における連携 ②幼保小中間の連携の強化 ◎教員の研修の充実と介助員の有効活用を図る。 ４．不登校対策に係る研修会の開催と連携体制づくり ①スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーの効果的な活用 ②教職員対象の不登校予防と対応の研修会開催 ③関係機関及びフリースペース「みちしるべ」との連携 【達成年度】 ・同　　上
	達成時期	平成２８年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
学校訪問			○				○		○			
各種研修会・研究指定校関係	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
中高一貫教育	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
ＥＳＤ教育	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
特別支援教育関係	①②	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
不登校対策関係	①②③	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

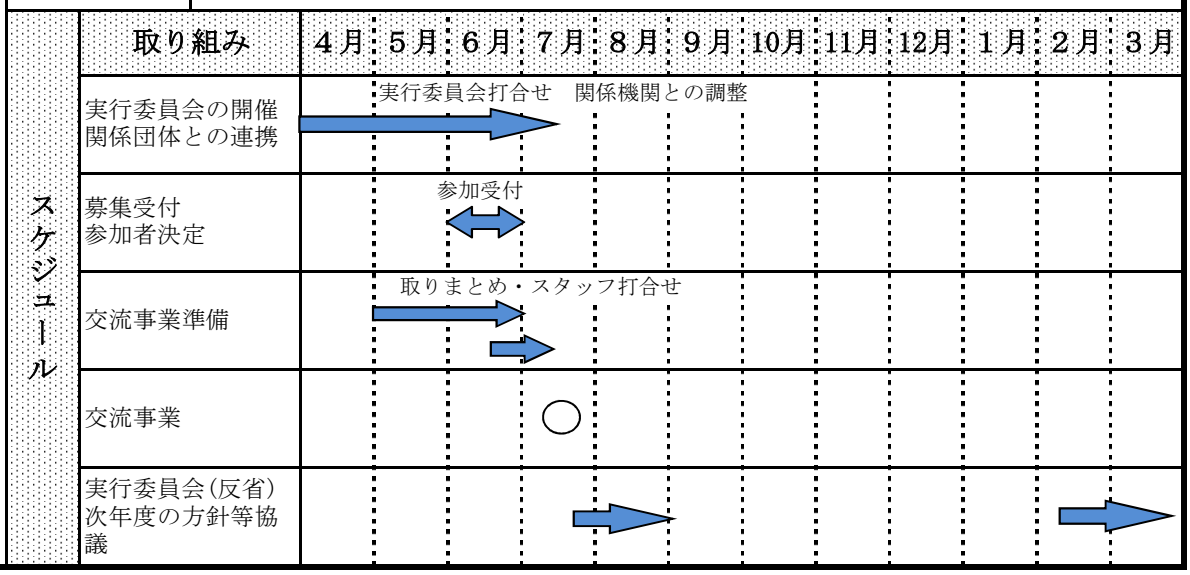
全体	№６２
個別	013-03

平成２７年度［教育委員会事務局］　組織目標

課　名	生　涯　学　習　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	地域が連携して支える教育･文化の充実した人とまち
		施　　策	地域資源を活かした生涯学習の充実

3	項　　目	しまの魅力に出会う日本の宝「しま」交流支援事業
	内　　容	○ 対馬ならではの「しま」体験活動の実践による地域教育力の向上支援 平成27年7月18日～30日の間において、長崎県内の離島（対馬、壱岐、五島）３地区でしまの魅力体験活動支援事業が開催されます。 本市では、7月18日～20日までの３日間、自然豊かな｢国境のしま｣で夏休みの思い出づくり事業を実施します。 島の人々や参加者同士の交流を深めるとともにシーカヤック体験・城山登山・海水浴・バーベキュー交流会を体験プログラムに組み込み、対馬の魅力を再認識するとともに、実行委員会を中心とした地域教育力の向上と島の活性化の支援を目指します。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ○ 親子コース　２泊３日 ○参加対象者　小学４年生～中学３年生とその保護者（島外在住者） 合計４０名 【達成年度】 ・同　　上
	達成時期	平成２８年３月



全体	№６３
個別	013-04

平成２７年度［教育委員会事務局］　組織目標

課　名	文　化　財　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	地域が連係して支える教育・文化の充実した人とまち
		施　　策	芸術・文化活動の振興
4	項　　目	文化財の保護・活用を図ります。	
	内　　容	①指定文化財の保存整備 ②文化財に係る防犯対策と情報発信 ③盆踊り調査	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ①指定文化財の保存整備（国指定４箇所、県指定１箇所） ②文化財に係る防犯対策と情報発信 文化財保護ネットワーク開催　１回　文化財保護審議会委員による巡回　２回、防犯設備設置３箇所 市報による情報発信　１２回、文化財・景観写真コンテスト実施（応募目標：１００点） ③盆踊り調査　調査委員会の立ち上げ、会議の開催１回 【達成年度】 ①史跡の保存整備（５箇所）の完了　（平成３０年度） ②文化財保護ネットワーク開催　１回　文化財保護審議会委員による巡回　２回、防犯設備設置３箇所 市報による情報発信　１２回、文化財・景観写真コンテスト実施（平成２７年度） ③盆踊り調査　（調査終了平成２９年度）	
	達成時期	平成３１年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
指定文化財の保存整備事業		↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
文化財に係る防犯対策と情報発信	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
盆踊り調査			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔